

第七十三回
帝國議會
貴族院

國家總動員法案特別委員會議事速記録第五號

昭和十三年三月二十三日(水曜日)午前十一時二十二分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 開會致シマス、松村君

○松村義一君 法案第三條ノ第七號、「國家總動員上必要ナル情報又ハ啓發宣傳ニ關スル業務」ト云フコトガ書イテアリマス、其ノ中ニ新聞紙ヲ包含スルノデゴザイマスルカ、ドウデゴザイマスルカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(瀧正雄君) 新聞紙ハ入りマス、包含サレテ居リマス

○松村義一君 サウ云フコトニナリマスルト、場合ニ依ッテハ新聞紙ニ關シテ之ヲ徵用スルトカ何トカ云フヤウナコトガ御アリニナルコトト思フノデゴザイマスルガ、サウ云フヤウナ御心組デモゴザイマスカ

○政府委員(瀧正雄君) 新聞紙ヲ徵用スルトカ、或ハ新聞紙ノ工場ヲ徵用スルトカ云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセス、唯此ノ業務ノ中ニ新聞紙ノ業務モ含マセナイト云フコトニナリマス、國家總動員業務ト云フモノハ外ノ業務ヨリ優先シテ色々ナ取扱ヲ受ケル點モアリマスノデ、新聞紙トシテ

モ除外サレルト非常ナ不便ナコトガ起ッテ参リマス、又之ニ依ッテ義務ヲ負擔スル方面ト便利ヲ與ヘラレル方面トノ其ノ兩方面ヲ考ヘナキヤナラスト思ヒマスガ、其ノ點ニ於テ此處ニ入ッテ居ルノガ適當ダト考ヘテ居リマススケレドモ、併シ今ノ御尋ノヤウナ、新聞紙ガ全部徵用サレテシマフトカ、或ハ工場ガ徵用サレルト云フヤウナコトハ殆ドナイコトデアリマシテ、只今想像シテ居ナイコトデアリマス

○松村義一君 私此ノコトニ關聯スルコトデゴザイマスルガ、一般的ニ此ノ總動員法ノ運用ニ付テノ私ノ考ヲ申上ゲタイ、ソレニ對スル政府ノ御所見ヲ御伺ヒシタイト云フヤウナコトデアリマス、先達テモ總理大臣カラ御答ガゴザイマシタヤウニ、國家總動員ヲ實行スルニ當ッテ、國民ノ愛國心ト云フコトニ依ッテ、無論自發的ニ進ンデ、國家總動員ヲ實行スルコトガ必要デアルガ、國民ノ愛國心ダケニ賴ル譯ニハ行カス、矢張り相當強制的ナ法令ガ必要デアルト云フ御話デゴザイマスガソレハ誠ニ私ハ御尤モダト思ヒマス、御尤モダト思ヒマスガ此ノ法ノ目的ハ國民ガ戰時ニ際シマシテハ國防目

的達成ノ爲ニ、國ノ全力ヲ舉ゲルト云フコトニ對シテ、本當ノ協力ヲスルト云フコトハ必要デアルノデゴザイマス、其ノ手段ト致シマシテ國民ノ自發ニ俟ツ場合モアル、又政府カラ強制スル場合モアルト云フノデゴザイマスガ、出來ルダケ國民ノ自發ニ俟ッテ、サウシテ總動員ヲスルト云フコトガ本當ノ舉國一致デナケレバナラスト思フノデゴザイマス、政府カラ強ヒテ強制サレテサウシテ舉國一致ニナルト云フ場合ニ於キマシテハ、消極的ノモノデス、ソレニハ生氣ガナイ、國民ハ沈滞シテシマフ、ソレヨリハ自ラ進ンデ此ノ總動員ニ參畫スルト云フコトニ於キマシテ、初メテ生々ト國家總動員ト云フモノガ出來ルノデナケレバナラスト思フノデゴザイマス、ソレガ本當ニ此ノ總動員計畫ノ目的ヲ達スル所以デナケレバナラスト私ハ確信致スノデゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ例ヘバ人ノ徵用ニ當リマシテモ此ノ施行要綱ニ依リマスルト成ルベク募集ノ方法ニ依ッテ、所要人員ヲ得ルトシテソレデ出來ナケレバ徵用ヲスル、此ノ御方針ガ必要デアル、又五條ノ協力ニ致シマシテモ、成ルベク自發ノ協力ニヤラセ

ル、サウシテ本當ニ總動員スルト云フコトヲ御ヤリニナルコトガ、極メテ必要デナケレバナラスト思フノデゴザイマス、從ッテ此ノ法ノ運用ニ當リマシテハ、生氣アル生々ト積極的ノ國家總動員ト云フコトヲ講ゼラレマスルヤウニ、成ルベク國民ノ自發心、國民ノ愛國心ニ俟ッテ之ヲ御ヤリニナルト云フコトガ必要デハナイカ、ソレガ出來マスヤウニ一ツ此ノ法ヲ運用セラル、ニ當ッテ、政府ノ御心組ミガ必要デアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、其ノ一般的ノ問題ニ付キマシテ、私ノ所見ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、ソレニ對スル御所見ヲ伺ヒマスルト同時ニ、新聞紙ニ付キマシテモ、今日ノ新聞紙ノ實際ヲ見マスルト、國家ノ爲ニ非常ニ今日ノ新聞紙ト云フモノハ、言ヒ換ヘレバオトナシクナッテ居ルノデゴザイマス、昨日モ伊澤サンカラモ御話ニナッテ居リマスヤウニ、澤山ノ新聞ヲ見ル必要ハナイ、一ツノ新聞ヲ見レバ殆ド大體分ル、斯ウ御話ニナリマスヤウニ、非常ニ能ク統制ガ取レテ居ル、隨分從來新聞ノ情況ヲ見マスルト云フト、隨分新聞ト云フモノヲ國家機關ガ能ク之ヲ強制スル、強制スルト云ッ

テモナカ／＼サウハ行カヌ、處ガ今日ハ此ノ支那事變ガ始リマシテ以來ハ、新聞ハ唯ソレニ自分ノ所謂我が儘ト云フコトハ全部止メテ、サウシテ國家ノ統制ニ服シテ居ルト云フノガ今日ノ現狀デアリマス、是ガ爲ニ一方カラ言ヘバ新聞ハ意氣地ガナイ、殆ド見テモ見ル甲斐ガナイト云フ非難モ受ケルノデアリマスケレドモ、一方カラ言ヘバサウ云フ良イ所モアルノデアリマスカラ、サウ云フ狀態ニナツテ居リマス新聞紙ヲ、強制的ニ徵用スルト云フコトハ甚ダ宜クナイコトデアリマス、若シ政府ガ徵用スルト云フコトニナリマスルト政府ノ機關紙ニナツテシマフ、政府ノ機關紙ニナツタナラバ外國モ餘リ信用セズ、日本ノ國ノ者モ亦信用ヲシナイ、サウスルト折角之ヲ宣傳機關ニ使ハウト思フテモ宣傳機關ニ使フ價值ガナクナツテシマフ、ソレヨリハ自發的ノ協力ニ依リマシテ、サウシテ國家ノ使用ノ目的ニセラル、コトガ政府トシテモ極メテ適當ナコトデハナイカト斯ウ思フノデゴザイマス、從ツテ之ニ付キマシテノ政府ノ將來本法ヲ運用サル、ニ當リマシテノ御心掛ニ付キマシテ、御答ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス

○政府委員(瀧正雄君) 國民ノ自發的協力

ニ俟ツノガ大切デアツテ、ソレガ愛國心ヲ本當ニ活カシテ利用スル所以デアルト云フヤウナ御言葉デゴザイマシタガ、全クソレハ同感デゴザイマス、ドウシテモ此ノ總動員ハ、殊ニ日本ノヤウナ國民精神ノ盛ナ所デハ、其ノ方針ニ基イテ行カナケレバ實效ヲ擧ゲルコトハ出來ナイト考ヘマスノデ、新聞紙ノ方面ニ於テモ御説御尤モデアリマス、殆ド同感デゴザイマス、從ツテ其ノ新聞紙ノ徵用ト云フコトモ、事業其ノモノヲ徵用スルト云フヤウナコトハ殆ドアリマセヌ、唯其ノ間ニ個人ニ付テ何カサウ云フコトガ起ルカモ知レヌト云フコト、僅カナル些々タル問題ニ新聞紙ノ關係ガ、此ノ總動員業務ノ中ニ入ラナケレバナラヌト豫想スル點ガアリマスルノデ、斯ウ入レテアルダケデアリマシテ、新聞紙ヲ全體トシテ徵用シタリ、輪轉機ヲ徵用シタリスルト云フヤウナコトハ殆ドナイト思フテ居リマス、唯愛國心ダケデ、一切法律ノ強制ト申シマスカ、規定ガナイ場合ニハ、往々愛國心ト云フモノハ道義的精神ニ止リマシテ、智的ノ方面ニ於テ何故ニ之ガ惡イノデアラウカ、ドウシテ之ガ差支ガアルドラウカト思ハレルヤウナ事デモ、總動員計畫トシテハ矢張り色々ナ干涉ヲシナケレバナラヌコトガ起ッ

テ參リマスノデ、其ノ點ヲ御了承願ヘバ、殆ド御同感ノ意ヲ表シテ差支ナイト思フテ居リマス

○松村義一君 只今總動員法ノ運用ニ當

テノ心持ト云フコトニ付キマシテ私ハ希望ヲ申上ゲタ、尙ソレニ、其ノ一ツノ適用トシテ新聞紙ノ徵用ト云フコトニ付テ申上ゲタンデアリマスガ、ソレニ對シテ私ノ意見ト全ク同ジデアルト云フコトヲ企畫院總裁ハ仰セニナリマシタ、丁度幸ヒ陸軍大臣ガ御出席ニナツテ居リマスカラ、總動員ニハ非常ニ御關係ノ深い陸軍大臣デアリマスカラ、陸軍大臣ハ今ノ瀧企畫院總裁ノ御答ヲ全部御承認下サイマシマスデゴザイマセウカ、ドウデアリマセウカ、御了認下サルト思ヒマシガ、念ノ爲ニ一ツ御伺ヒ致シマス

ヘテ居ルノデアリマス、從ツテ第四條ノ如キモ茲ニ國民ヲ徵用スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスルケレドモ、先ヅ一般ニ募集ヲシ、或ハ志願者ヲ求メテ見マシテ、サウシテ尙其ノ目的ヲ達成シ能ハザル場合ニ徵用ヲ用ユルト云フヤウナ場合モアルノデアリマスルシ、或ハ又必要ニ依ツテハ戰時ノ要求ニ依リマシテ、急速ニ此ノ人員ガ欲シイト云フヤウナ場合ニ、普通ノ方法ニ依リマシテハ之ヲ求ムルコトハ出來ヌト云フヤウナ場合ニ、已ムヲ得ズ徵用ヲ致サナケレバナラヌト云フヤウナ事モアルノデアリマシテ、出來ルナラバ成ルベク國民ノ自發的精神ニ依ツテ進ンデ參リタイト存ジテ居ルノデアリマス、新聞紙ニ關シマシテモ、最初ヨリ總動員法ガ有效的ニ働クヤウニナリマシタ場合ニ、直ニ新聞ニ諸種ノ制裁ヲ加ヘルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラヌノデアリマシテ、現ニ此ノ度ノ事變ガ始リマシタル後ニ於テモ、軍事上外交上等ニ關シマシテ、祕密ヲ保持シテ貫ハナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、眞ニ新聞紙モ能ク協力シテ之ニ從ツテ貫ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ往々ニシテ斯ウ云フ場合何等カノ間違ニ依ツテ此ノ點ニ於テ缺ケル場合モナイデモナカッタノデアリマス、是等ハ從來

○國務大臣(杉山元君) 只今松村サンカラ御尋ニナリマシタ國家總動員法ニ於キマシテハ、國民ノ自發的精神ニ待ツベキモノデアツテ、強制的ニ之ヲヤルベキモノデナイト云フヤウナ御心持デアッタト思ヒマスガ、此ノ法案ニ於キマシテハ何處迄モ其ノ精神ニ出發シテ居ルノデアリマシテ、出來得ルナラバ國民ノ忠誠ナル精神ニ依ツテ協力ヲ求メ、而シテ其ノ目的ヲ達成シ能ハザル場合ニ此ノ法ヲ發動スルヤウニ致シタイト考

ニ於キマシテハ餘リ大キナ影響ヲ及スヤウ
ナコトハナカッタノデアリマスルケレドモ、
萬々一之ニ對シテ非常ナル結果ヲ齎スヤウ
ナ場合ニ於キマシテハ、本法ヲ適用シナケレ
バナラスト云フヤウナコトモアルノデアリ
マシテ、ソレヲ場合モ考ヘテ第二十條ヲ
規定致シタト云フヤウナ次第デアリマス、
御承知ノ如ク昨年ノ秋ニ軍需工業動員法ガ
公布サレテ、現ニ之ヲ實行スルコトニナッ
居ルノデアリマスガ、軍需工業動員法ニ於
キマシテハ工場、事業場ヲ管理、使用、收
用スルコトガ出來ルコトニナッテ居ルノデ
アリマスルケレドモ、今日ニ於キマシテ陸
軍デ使ッテ居リマスル關係ノアル工場ダケ
デモ數千アルノデアリマスガ、現ニ管理ダ
ケヲヤッテ居リマスル工場ガ百ニ達セスト
云フヤウナ情況デアリマシテ、出來得ルナ
ラバ成ルベク國民ノ權利義務ニ制裁ヲ加ヘ
ヌ範圍ニ於テ進ンデ見マシテ、已ムヲ得ザ
ル場合ニ此ノ法ヲ使ハナケレバナラスト云
フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、本法ト之
ヲ活用致シマスル政府ノ考トニ於キマシテ
ハ、只今申上ゲタヤウナ考ノ下ニ之ヲ運用
シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘテ居ル
ノデアリマス

○伊澤多喜男君 今ノ松村君ノ御質問ノ第

三條ノ第七號ノ中ニ新聞紙ヲ含ムカドウ
カ、是ハ申ス迄モナク此ノ文理解釋トシテ
ハ含ムモノダト思フノデスガ、今瀧政府委
員ノ御答ニ依ルト云フト、新聞紙ヲ徵用ス
ルト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラスト云フ
御話デ、無論サウダラウト思ヒマス、私ハ
ソレニ關聯シテチョット伺ヒタイノデスガ、
政府デ或時ニ、其ノ當局者ノ中ノ中樞ノ二
三人カラシテ、新聞社ノ主ナル最モ中心
ニ居ル人々ニ對シテ此ノ「情報又ハ啓發宣
傳ニ關スル業務」ト云フ中ニハ日刊新聞ハ
含ンデ居ラス、若シ含ンデ居ルモノナラバ
日刊新聞ヲ除クト云フコトヲ入レテ呉レト
云フコトヲ言ッテ頻リニ交渉シタ時ニ、含ン
デ居ラスト云フコトヲ政府ノ責任ノアル人
ガ言ウテ居ルノデアリマス、處方衆議院ノ
委員會ニ於テ内務大臣ハ是ハ含ンデ居ルノ
ダ、斯ウ云フ御答ヲシタ、ソレデ新聞社ノ
今ノ主ナル人達ハ又一體ドウナッタト言ッ
テ、之ヲ答ヘタ方面ニ向ッテ詰問シタト云フ
コトデ、答ハ頗ル曖昧ニナッタト云フヤウナ
コトヲ漏レ聞クノデアリマスガ、サウ云フ
態度ハ私ハ甚ダ感服シナイノデスガ、一體
ドウ云フ事實ガアルノデスカ、若シ御差支
ナケレバ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(瀧正雄君) 第三條ノ第七號ニ

付テ日刊新聞ハ含ンデ居ルカ、含ンデ居ナ
イカト云フヤウナ話ト同時ニ、工場ヲ徵用
スル若シクハ新聞紙ヲ徵用スルト云フヤウ
ナコトガアルカナイカト云フヤウナ話ト、
コンガラカッテ話ガ出タヤウニ私ハ了承シテ
居リマス、ソコデ新聞紙ノ事業ヲ徵用スル
トカ、或ハ工場ヲ徵用スルトカ云フヤウナ
コトハ絕對ニアリマセスト云フヤウナ話ガ
出タ時ニ、日刊新聞ヲソレデハ除クト此處
ヘ入レタラドウダラウカト云フ話ガ出テ、
ソレハムヅカシイ、態、サウ入レルノハムヅ
カシイデアラウト云フヤウナ話ガアッタヤ
ウニ私ハ記憶シテ居リマス、ソコデ後ノ日
ニアノ時ニ日刊新聞ハ入ラナイト云フコト
デアッタガ、話ガ違ヒハセヌカト云フ御話ノ
アッタ時ニ、ドウモソコニ誤解ガアッタヤウニ
思ヒマス、言ッタ方ト聞イタ方ニ誤解ガアッ
タヤウニ思ヒマシテ、今度其ノ話ガアッタ
時ニハ、若シ此處ニ日刊新聞ヲ含マナイト
シタナラバ十一條ノ「資金ノ運用ニ關シ必
要ナル命令」ト云フヤウナコトニ付テモ、
若シ國家總動員業務ノ中ニ入ッテ居ナイ場合
ニハ非常ニ新聞社モ不便ニナリマスカラ、資
金ノ方カラ考ヘテ見テモ、是ハ入ッテ居ッ
タ方ガ便利デアルト色々ナ話ヲシテ、其ノ時
ハ了解ヲサレタヤウニ記憶ヲ致シマス、初

メノ時ト後ノ時トハ言葉ノ足リナカッタ點
モアリマスシ、雙方ニ用語ノ上ニ誤解ガアッ
タヤウニ記憶シテ居リマシタノデ、喰違ヒ
ガアッタノハ事實デアリマスルケレドモ、雙方
ノ言葉ノ使ヒ方ニ喰違ヒガアッタヤウニ私
ハ記憶シテ居リマス、故ニ日刊新聞ハ入ル
ト申上ゲルノガ本當デゴザイマス

○伊澤多喜男君 私共ハ此ノ條文ヲ讀ンデ
見テ、日刊新聞ガ入ルト云フコトハ、殆ド
何等ノ疑モナイト思ッテ居リマス、當然入ル
モノダト思ヒマス、ソレガ今ノヤウニ新聞
社ノ中樞ノ人物ガ、而モ八九人モ揃ッテ行ッ
テ、政府ノ、是ハ名前ハ言ヒマセヌ、名前
ハ言ヒマセヌガ、政府ノ關係ノアル中樞ノ
人ニ會ウテ、サウシテ聽クト云フト、兎ニ角
大體三回程主ナル人ニ會ッテ居ルヤウデス
ガ、ソレニ依ルト云フト、最初ノ間ハ入ッ
テ居ラスト云フ風ニ少クトモ今ノ八九人ノ人
ハ聞イテ居ル、ソレカラシテマア入ッテ居ラ
スト言フケレドモ、是ハ當リ前ノ常識デ考
ヘレバ入ル問題ナンデスカラ、ソレダカラ
新聞社ノ連中ハ心配スルノダカラシテ、貴
方ハ入ッテ居ラスト言フケレドモ、果シテ
入ッテ居ラスト言フナラバ、日刊新聞ヲ除ク
ト云フヤウニヤッテ呉レタラドウダラウ、サ
ウ云フコトガ勢ヒ出テ來ルノハ當リ前デア

ル、ソレガ出テ來タ、日刊新聞ヲ除クトハ、是ハ成文ニナツタ後ニ、日刊新聞ヲ除クト云フコトヲ書イテ呉レト、斯ウ云フコトヲ話シタ處ガ、サウハ行カヌ……、少シ私ノ言ヒ方ガ惡ウゴザイマシタケレドモ、是ハ實ハ成文ニナラヌ前ニ今ノ話ハアツタノデス、ソコデ斯ウ云フ成文ガ出來ルト云フ噂ヲ聞イテ、新聞社ノ人々ハ心配シタノデス、自分共ノ業務ヲ總動員法上必要ナリトシテ徵用サレシマツタラ、ソレハドウナルカ、他ノモノトハ違フノデス、他ノ例ヘバ工場デアルトカ、或ハ物件デアルトカ云フヤウナモノナラバ、ソレハ徵用サレテモ又元通りニナルデアリマセウガ、新聞ト云フヤウナ一ツノ「オルガニゼーション」ヲ徵用シテ、サウシテ退職資金トカサウ云フ關係モアリマセウシ、又新聞ニハ一ツノ精神ト云フモノガアリマスシ、澤山ノ人間ヲ使ツテヤツテ居ルノダカラ、一遍ソレガ徵用サレシマツテ、官報化シタ後ニ元ニ復ツテ來タ處ガ仕方ナイノダト云フヤウナ考カラシテ、兎ニ角サウ云フコトハ入レテ貰ヒタクナイト云フコトヲ話シタ處ガ、ソレハ入レナイ積リダト云フコトデアッタノデアリマス、處ガ愈々成文ニナツテ見タラ入ッテ居ル、ソレデヤ日刊新聞ヲ除ク

ト云フ風ニ書イテ呉レ、斯ウ云フ話合ヲシタト云フコトデ、私ハ此處ニ其ノ詳シイモノヲ持ツテ居リマス、何月何日ドウシタト云フコトヲ書イデアリマスガ、ソシナコトヲ今言フ必要ハアリマセヌカラ申シマセヌガ、大變ニ政府ノ當局者ト新聞社ノ主ナル人々ノ間ノ行違ヒト申セバ行違ヒ、ドチラガ一體惡イトカ彼此言ヒマセヌガ、大變ニ行違ヒガアルヤウデス、サウ云フコトハ要スルニ非常ニ政府ノ信用ニ關係スルコトダト云フヤウナ心持ガシマスカラ、ソレデ特ニ關聯シテ一ツ伺ヒタイト思ツタノデスガ、是以上ノ御質問ハ致シマセヌ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 大島君……

○松村義一君 先程企畫院總裁カラ御答ヲ願ツテ、尙陸軍大臣カラ御答ヲ願ヒマシテ恐縮デゴザイマスガ、陸軍大臣ノ御答モ私共ノ意見ヲ御承認下サイマシタノデ喜ンデ居ルノデゴザイマスガ、先程ノ御話ノ新聞紙ノ問題ニ付キマシテハ、第二十條ノ方ノコトヲ御話ニナリマシテ、ソレモ誠ニ了承致シマシタガ、此ノ新聞紙ヲ徵用スルト云フ問題ニ付キマシテハ、先程私が申上ゲマシタヤウニ、是ハ徵用スルト云フコトハ却テ愚ナコトト思フ、折角自發的ニヤツテ居ルモノヲ徵用スル爲ニ却テソレガ宣傳ニナラ

ナクナルト云フヤウナ結果ニ相成リマスルノデゴザイマスガ、徵用ハナサラス方ガ宜イノデヤナイカト云フコトヲ申上ゲ、其ノ御答ヲ企畫院總裁カラ伺ツタノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテモ同ジ御意見デゴザイマセウカ、尙恐入リマスガ、モウ一度御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(杉山元君) 只今松村サンカラ御尋ニナリマシタ件ニ付キマシテハ、瀧總裁カラ申上ゲマシタト全ク同様デアリマス、此ノ第七號ニ掲ゲデアリマスノハ、必要ナル情報又ハ啓發宣傳ニ關スル業務、此ノ業務ノ爲ニ新聞社ノ活動ト申シマスルカ、共同活動ヲ考ヘテ居ルノデアリマシテ、之ヲ活動セシムル爲ニ徵用スル、收用スルト云フヤウナ所迄深く考ヘテハ居ラナイノデアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 大島君ニ御尋ヲ致シマスガ、總理大臣ガ御出席サレル迄御質問ハ御待チナリマスカ、又ハ陸軍大臣ニ御質問ニナリマスカ

○大島健一君 陸軍大臣ガ居ラレマスレバ、御都合デドチラデモ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 若シ此ノ際デ宜ケレバ此ノ際願ヒタイト思ヒマス、總理大臣モ追ッテ出席サレマスカラ、總理大臣

ニ對スル分ハ其ノ節ニナサイマスカ

○大島健一君 私ハ一般ノ御話ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマスカラ、總理大臣ガ出ラレバ結構デアリマスガ、出ラレマスカ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 出ラレマス

○伊澤多喜男君 其ノ間ニ一ツ伺ヒマス、瀧政府委員ニ御問ヒ致シマス、此ノ第五十條ノ審議會ニ諮問セラレル事項ハドンナコトデアリマスカ、御分リニナツテ居ル範圍デ御答ヲ願ヒマス

○政府委員(瀧正雄君) 勅令ノ内容ニナル所ノ重要ナル事項ト云フコトデゴザイマスカラ、ドンナコトカト云ハレルト具體的ニ申上ゲ兼ねマスケレドモ、ソコニ實ハムツカシイ點ガアリマシテ、軍機ニ關スルモノヲ除クト思フノデス、軍機軍令ハ是ハ統帥權ノ事項ニナリマスカラ、當然入リマセヌ、處ガ關スルモノト云フ言葉ニ曖昧ナト申シマスカ、ムツカシイ、ハッキリシナイ點ガ出デ參リマス、此ノ關スルモノト云フコトニハ、譬デ申シマス、統計ノヤウナモノニ一番多ク現レテ來ルト思ヒマス、其ノ數字ヲ明白ニスルト直グ軍機ノ祕密ノコトガ窺ヒ知ラレルヤウナ虞ガアリマスノデ、サウ云フヤウナ祕密ヲ窺ヒ知ルコトノ直チニ出來ルヤウナ部分ハ、ソレ自體ガ軍機デ

ナクテモ掛ケナイ、斯ウ云フコトニナリマス、其ノ他ノコトハ大體ハ國家總動員ノ業務ト云フモノハ國務ニ屬シテ居リマスノデ、軍機軍令トノ關係ノナイ關係ト云フト言ヒ過ギマスガ、軍機軍令ニアザル國務ニ屬シテ居リマスノデ、出來ルダケ重要ナル事項ハ多ク審議會ニ掛ケルト、斯ウ云フ方針ニナツテ居リマス、是ダケデハ説明ガ足りマセスカモ知レマセヌケレドモ、大體申上ゲルトサウ云フ考デ居リマス

○伊澤多喜男君 大體斯ウ云フ風ニ了承シテ宜シウゴザイマスガ、此ノ本法施行ニ關スル重要事項ト書イテアルガ、大體ハ此ノ此處ニ所謂委任命令ガ出ヨウト云フノデスカ、大體ハサウ云フモノガ掛カルンダト、ソレカラハ是ハ無論私ハ大體掛カルダラウト思フノデスカ、若シ其ノ外ニ何カ掛カルモノガアレバ私ハ伺ヒタイト思フノデスカ

○政府委員(瀧正雄君) 大體委任命令ノ内容ニ屬スルモノデアリマス、命令自身ハ勿論掛カリマセヌガ、委任命令ノ内容トナルベキ重要事項ト斯ウ考ヘテ居リマス

○伊澤多喜男君 ソレ以外ノモノハモウ御掛ケニナラヌト云フ御積リデスカ

○政府委員(瀧正雄君) ソレ以外ト申シマ

スト、運用ノ方針デスネ、方針ハ掛カッテモ宜イト思ヒマス

○伊澤多喜男君 掛カッテモ宜イト仰シヤイマスケレドモ、御掛ケニナルコトガアラウト云フ意味デゴザイマスガ

○政府委員(瀧正雄君) 左様デゴザイマス

○伊澤多喜男君 一體私ガ聞イテ居ル所ニ依リマス云フト、マア資源局ト云ヒマスカ、或ハ企畫廳ト云ヒマスカ、其ノ邊ノ一部ノ人ノ考ヘタ所ニ依レバ、兎ニ角此ノ總動員ノ原案ト云フヤウナモノヲ作ル時ニハ、例ヘバ各官廳ノ官吏トカ、ソレカラシテ色々學識經驗ノアル人々トカ云フヤウナ人ヲ集メテ、サウシテ一ツノ原案ヲ作ル爲ノ、要スルニ委員ヲ作ツタ、即チ今日デ言ヘバ、企畫院ノ内部的ノ委員ヲ作り、所謂「エキスパート」ヲ集メテ作ツタ、サウシテ考方トシテハ、モウ一ツノ審查會ト云フモノハドウ云フモノニスルカト云ヘバ、是ハ寧ろ議會ノ延長デアル、斯ウ云フヤウナ考方カラシテ、要スルニ議會カラシテ、貴衆兩院カラシテ選舉セラレタ所ノ委員ヲ以テ組織シテ、サウシテ之ニ出來タ言ツタ委員會デ練ツテ、サウシテ原案ガ出來タ、其ノ原案ヲ茲ニ掛ケテ、サウシテ其ノ決議ヲ經テ行カウト云フト、サウ云ツタ極ク簡單ナ言葉デ、

謂ハバ昔アツタ府縣ノ常置員トカ、或ハ今日ハ少シ違ヒマスケレドモ、府縣ノ參事會トカ云フヤウナ形ノ意味合ノモノニシタイ、ソレガドウ云フコトカト云ヘバ、今ノ委任立法ヲヤルンダカラシテ、ソレデ委任立法ト云フコトハ非常ニ例外ノコトデ變則デアルカラシテ、ソレデ兎ニ角議會ガ自分ノ代表者、少數ノ代表者ト云フヤウナ者ヲ選ンデ、サウシテ之ニ掛ケルンダト、斯ウ云フ思想デアツタ、是ハ私ハ自分ガ賛成力反對カト云ヘバ、私ハソレニ別ニ賛成トモ反對トモ申シマセヌケレドモ、サウ云フコトダウト云フト、審議會ト云フモノハ一種ノ意味ヲ持ツノデス、處ガ今日ノ第五十條ニ言ツテ居ル所ノ審議會ト云フモノハ、先程言ツタ私ノ言フ委員會デアル、内部的ノ委員會ト云フモノト、サウシテ此ノ貴衆兩院カラシテ選マレタ所ノ委員ト云フ者ト一緒ニナツテ、サウシテ茲ニ出テ來タ、サウシテソレハ兎ニ角今ノヤウナ風ニ、所謂委任命令ニ關スルコトモ諮問ニ應ジテ御答ヲ申上ゲルガ、又其ノ以外ノコトモ御答ヘ申上ゲルト、ソレハ決議機關デモ何デモナク、兎ニ角政府ガ之ヲ尊重スルケレドモ、採用シヨウト、採用シマイト、ソレハ政府ノ御勝手次第デアルト、斯ウ云フコトガ茲ニ現レテ來テ居ル、

併シ私ノ漏レ聞イテ居ル所デハ、間違ッテ居ルカモ知レマセスカラシテ、ソシナヤウナ意味ノモノガ會デアツタコトガアルカト云フコトヲ私ハ御聽キシタイノデアリマス

○政府委員(瀧正雄君) 初メカラ立案者ト申シマスガ、企畫院方面ノ意向ハ、伊澤サシノ仰シヤツタ第一ノ意味、第二ノ意味ト別ケテ申シマス、第一ノ方面デゴザイマス、即チ第二ノ方ハ假ニ行政ノ構成ヲ保障スルトカ、或ハ關係者ノ利益ヲ擁護スルトカ云フヤウナ趣旨ニ基ク機關ト云フ風ニ解シマスト、サウ云フ意味デハナクシテ、單ニ廣ク有識者ノ參畫ヲ求メテ色々意見ヲ徵シテ、參考ニスルト云フ諮問機關ト云フニ止マルノデアリマス

○伊澤多喜男君 政府ノ御考ハ分リマスガ、衆議院デ特ニ色々註文ヲ附ケマシテ、サウシテ尠クトモ過半数ハ貴衆兩院カラシテ是非出スコトニシテ貰ヒタイト云フヤウナ希望ガアリマシテ、ソレヲ政府ハ御容レニナツタト云フヤウナ御答辯ヲ爲スッテ居ルノデアリマシテ、多分サウ爲サルコトダラウト思ヒマス、ソレカラシテ昨日デアリマスガ、山川委員カラハ決議機關ニスルカドウカト云フヤウナ御質問モアリマスガ、大體議會トシテドウ云フ氣持デサウ云フコトガ現

レテ來ルカト云ヘバ、私ガ只今申シタヤウ
ナ第二ノ意味ヲ多分ニ持ッテ考ヘテ居ルト
云フ風ニ私ハ思フノデアリマス、政府モ衆
議院ノ考方ヲ御容レニナツタト云フノハ、大
體サウ云フコトヲ……サウ云フ空氣ガアル
トカ、サウ云フ希望ガアルトカ云フコトヲ
御承知ニナッテ、サウシテ今ノ通り過半数ハ
貴衆兩院カラ出スト、斯ウ云フヤウナ風ニ
御考ニナツタノデナイカト思ヒマス、ソコデ
私ガ伺ヒマスコトハ、一體此ノ審議會ト云
フモノガ置カレタ場合ニ、政府ハ此ノ貴衆
兩院カラ出ル委員ヲ御採リニナルトカ、
衆議院ナラバ各政黨ニ御諮ニナッテ政黨ノ
推薦スル者ヲ御採リニナリマスカ、又貴族
院ナラバ各派ト云フモノガアリマスカラシ
テ、各派ニ御交渉ニナッテソレカラ御採リニ
ナリマスカ、サウデナクテ所謂世ノ中デ俗
ニ謂フ牛蒡拔ト云フノヤツデ、サウシテ政
府ノ何ト云ヒマスカ御都合ノイイ者ヲ牛蒡
拔ニ爲サル御積リデアリマスカ、ソレヲ伺
ヒタイ

兩院カラ採ルト云フ趣旨カラ考ヘテ見デ
モ、伊澤サンノ仰シヤツタ第二ノ意味ヲ多分
ニ持ッテ居ルノデハナイカト、斯ウ云フ御話
デアリマシタガ、ソレハ精神トシテハ御尤
ナ話デゴザイマス、私ガ茲ニ御答ヘシテ居ッ
タノハ、所謂堅苦シイ法律的ノ言葉デ御答
ヲシテ居ルノデ、御趣旨ト云ヒ精神ト云フ
所ニハ自ラ運用ニ當ル人ガ十分留意スベキ
ダト考ヘマスノデ、其ノ點ハ御趣旨ノアル
所ヲ能ク了承シ、考慮ノ上運用ニ當ルベキ
ダト考ヘマス、ソレカラ人ヲ採用スル場合
ニ各政黨カラ推薦シタ人ヲ採ルカ、又ハ貴
族院ニ於テモ各團體ノ推薦ニ基イテ能ク協
調ヲ圖ッテ行クカト云フヤウナ御質問デア
リマスガ、其ノ點モ十分サウ云フコトヲ考
慮シテ行ハル、モノト信ジテ居リマス、私
一人カラ斷定的ニ申スノハドウカトモ思ヒ
マスケレドモ、十分ソレハ考慮サレルコト
疑ナイト考ヘテ居リマス

○伊澤多喜男君 瀧政府委員ノ御答辯デ大
體分ッテ居リマスガ、幸ニ總理大臣ガ御出
席デゴザイマスカラシテ、只今ノ最後ノ點
ニ付テ總理大臣ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマ
ス

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 審議會ノ議
員ハ兩院カラ政府ニ於テ適任ナリト認ムル
方々ヲ御推薦シタイト思ヒマス、其ノ結果
カラ見マシタラ恐ラク只今伊澤サンノ仰セ
ノヤウナコトニナラウト思ッテ居リマス

○大島健一君 私ハ御質問申上ゲル前ニ一
ツ小サイコトデ別ニ伺ッテ置キタイト思ヒ
マス、是ハ伺フ迄モナイコトト思ヒマスガ、
此ノ法案ガ實施ニナリマスレバ此ノ中央統
轄機關、國家總動員法運用機關ト云フヤウ
ナモノガ出來マスルカ、或ハ企畫院デナサ
ルカ、兎ニ角平時ヨリ動員ノ計畫ガ立テラ
レテ行クベキモノデアルト思フ、又立テラ
レルノデアルト云フコトヲ考ヘテ居リマス
ガ、ソレハサウ考ヘテ宜シウゴザイマス
ドウデアリマスカ、是ハ政府委員ノドナタ
カラデモ御答ヲ戴イテ宜シウゴザイマス

○政府委員(瀧正雄君) 中央機關ト云フ御
言葉デゴザイマスガ、中央機關ト致シマシ
テハ内閣ガ中心ニナッテ居ルモノ、内閣ト申
シマス其ノ機關トシテ今企畫院ガアル譯
デアリマスカラ、此ノ現在ノ情況ニ於キマ
シテハ、總理大臣ヲ中心ト致シマシテ企畫
院ガ調整統一ノ事務ダケヲ行フコトニナッテ
居リマス、サウシテ各省ノ仕事ニ當リマス
モノハ、各省ガ官制ノ定ムル所ニ從ッテ其
ノ任務ヲ進メテ行クト云フコトニ相成リマ
ス

○大島健一君 國家總動員ノ此ノ法ハ第一
條ニ掲ゲラレテアル所ノ人的或ハ物的ノ資
源ヲ統制シテ之ヲ有效ニ運用ヲスル、其ノ
準備ヲスルノガ即チ只今仰シヤル平時ノ計
畫デアリマスガ、其ノ計畫ハ統一シタモノ
ナクシテ各省デヤルト云フノハドウ云フコ
トニナリマスカ、例ヘバ鐵ノ如キ四百萬「ト
ン」デハ不足デアル、ドウシテモ有事ノ日ニ
ハ今少シ増サナケレバナラス、之ニハ段々、
生産ヲスル、ソレカラ輸入、ソレ等ニ依ッテ
之ヲ六百萬「トン」迄ハ進メテ行カナケレバ
ナラス、斯ウ云フコトハ何レ考ヘラレル譯
デアリマセウ、ソレニ對シテ是ハ商工省デ
注文スルカ、或ハ商工省カラ軍部ナリ遞信
省ナリ民間諸工場ナリヲ凡ソ見テ、サウシ
テ商工省デ其ノ計畫ヲスル斯ウ云フヤウナ
コトニナリマスカ、私ハ統一サレタル大體
ノモノガ何處カニ出來ナケレバナラヌト
思ッテ居リマス

○政府委員(瀧正雄君) 御説ノ通り統一サ
レタル綜合計畫ト云フモノガ一箇所デ立タ
ナケレバ、全體ノ計畫ガ成立チマセヌソレハ
只今ノ所デハ企畫院ガヤツテ居リマス、企畫
院ニ各省ノ次官デスガ、參與ノ名前デ次官
ヲ御集リヲ願ヒマシテ、サウシテ總動員ニ
關シテ申シマスレバ國家總動員ノ計畫ヲ立

テルノデゴザイマス、ドレダケノ物資ガ軍需ニ於テ、ドレダケノ數量ガ民需ニ於テ必要デアルト云フコトノ計畫ヲ立テマシテ、サウシテ中ニハ輸入ニ仰グ分モアリマスカラ、輸入ノ計畫ヲ立テル場合ニハ爲替資金ノコトモ考ヘマシテ、大藏省デドレダケノ金ヲ流出シ得ルカ、ドレダケノコトヲ許シ得ルカト云フ分量ヲ見計ラヒマシテ、各軍需、民需ニ互リマシテソレヲ全體ニ綜合シテ計畫ヲ立テルノデアリマス、サウシテ其ノ計畫ヲ立テタモノヲ各省ノ分野ニ分配ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ實行ノ衝ニ當ッテ貰フ、斯ウ云フコトニナツテ、只今デハサウ云フ方針デ計畫ヲ立テ事實ノ事務ヲ執テ進ンデ居ル次第デゴザイマス

○大島健一君 過日來委任命令ノ範圍程度等ガ十分ニ端倪スルコトガ出來ナイ爲ニ世間ニハ非常ナ不安ヲ感ジテ居ル、ドウカ是等ノ不安ヲ除キタイト云フヤウナ點ニ付キマシテ法理、法制ニ精通セラル、諸君ノ御質疑ヲ承リ、又之ニ對スル政府ノ御答辯モ承知致シマシテ、何レニモ根據ガアリ、理由ガアル御議論、御説明ノヤウニ拜承致シマシタ、如何ニモ此ノ世間ノ不安即チ憲法第二章ノ保障ニ脅威ヲ感ズル、此ノ立法デハ……ト云フ御趣旨ハ能ク分リマス、併シ今

同ノ動員法ハ曩ノ軍需動員法ノ極ク單一ナル、軍需ノ一種類ニ限ッテ居リマス點ト異ッテ國民ノ生活カラ財政經濟ノ按排統制等ニ至ル迄、總テ是等ノ動員シテ、人的物的ノ資源ヲ擧ゲテ統制運用シヨウトシテ居リマス爲ニ、其ノ對象ガ極メテ繁多ニナリ、爲ニ之ニ對シテ簡潔明瞭ニ如何ナル程度、如何ナル範圍、如何ナル目的ト云フヤウナコトヲ明カニシテ、動員ニ入ルベキモノニ其ノ限界ヲ知ラセルト云フコトガムツカシイ、是ハ政府モ屢、御答辯デアリマシタデスガ、ソコデ此ノ二ツノ考ノ結果トシテ、相對スル考ノ結果トシテ、只今伊澤君カラモ御質疑ガアリマシタ審議會ノ如キモノモ出來、又殊ニ斯ウ云フ場合ニ考ヘネバナラヌ事柄デアラウト思ヒマスガ、過日衆議院ノ某委員ノ御質疑ニ對シテ、總理大臣ハ「帝國憲法ノアル限り、聖天子ノ在ハス限り、憲法ノ規定ニ從ヒ、國政ヲ運用スルコトハ何時如何ナル時代ニ於テモ變ハルコトガナイト思フ」ト云フ一節ヲ拜見致シマシタ、誠ニ結構ナ御説御答辯ト存ジマス、大正天皇ノ御即位ノ勅語ニモ義ハ即チ君臣ニシテ情ハ父子ナリト仰セラレテアル、今上陛下ノ御即位ノ御勅語ニモ、國ヲ以テ家ト爲シ民ヲ子

ト爲スト云フヤウナ御言葉ガアリ、是等ト此ノ憲法發布ノ勅語ノ中ニモ臣民ノ權利及財產ノ安全、其ノ尊重ト云フヤウナコトヲ重ンゼラレテ、此ノ憲法ノ御發布ニナツタ點ガ明カニナツテ居ル、此ノ御趣旨ヲ體シ、憲法ヲ以テ保護サレテ居ル所ノ此ノ國民ノ自由トカ、權利トカ、財産トカ云フモノヲ傷ツケルト云フコトノナイコトヲ、是等ノ御發言、又是等ノ詔勅、是等ハ歷代何レノ政府モ皆十分ニ尊重セラレ、殊ニ只今ノ權利財産ト云フヤウナコトニ關係スル場合ハ、殊更是等ノ心持ヲ遵奉ヲシテ立案セムケレバナラヌモノト思ヒマス、之ニ依ッテ前申シタ我々モ同ジデアリマスガ、此ノ諸君ノ御質疑御心配、法ノ規定ノ調和ヲ得テ、甚シキ權利自由ニ拘束乃至ハ損害ヲ與ヘルト云フコトハナイト考ヘムケレバナラヌト思フノデアリマス、殊ニ是等ノコトハ實行ノ方ニ入ッテ考ヘテ見マシタナラバ、又別ニ明カニナツテ來ル點モアラウト思ヒマス、依ッテ私ハ動員ノ計畫及其ノ實施ノ方面ヨリ專ラ實際ヲ主トシテ檢討ヲ試ミタイト思ヒマス、依ッテ此ノ方面ヨリ當局ニ御尋ラ致シタイト存ジマス、本法ハ御承知ノ通り第一條ヨリ第二十條迄ハ專ラ戰時ノ、戰時動員實施ノ範圍ヲ概定シ、動員セラルベキ者ヲシテ其ノ範

圍ヲ知り、平時ヨリ戰時ノ心構ヲ爲サシメ置クト云フノガ法制ノ趣意デアリマス、二十一條以下ハ罰則ヲ除ケバ主トシテ平時ノ動員準備事項ヲ規定シタノデアリマス、ソレデ前ニ御質問ヲ申上ゲタヤウニ、動員計畫、此ノ法ガ實施サレテ、動員計畫ハ如何ニナツテ參ルカト云フコトヲ考ヘマスト、先程企畫院總裁ヨリ御答ヘ下サイマシタヤウニ、此ノ平時ノ二十一箇條以下ノ規定ニ依リマシテ、各種ノ調査報告ガ集リマセウ、固ヨリ是ニハ國勢調査ノ資料其ノ他各種ノモノガ集ッテ此ノ計畫ガ出來、又其ノ計畫ハ國力ノ發展ト共ニ増進スル事情ニ應ジテ、年々更新シテ行クヤウニナルモノト考ヘマス、ソレデ此ノ計畫ハ只今總裁ヨリ御答ヲ得マシタヤウニ、此ノ法ニ對スル唯一ノ綜合的根本動員方針デアルト考ヘルノデアリマス、是ハ一個ノ根本的綜合計畫ヲ致シマスノデ、初メテ戰時全部之ヲ動員スレバ我が國ノ最大ノ國力ヲ運用シ得ベキモノガ出來テ居ル、是ガ平時ヨリ其ノ綜合計畫ガ出來テ居リマスレバ、全部日本ノ國力ヲ動員シタナラバ是ダケノ力ノアルモノナリト云フ計畫ガ出來テ居ルノデアリマス、然ルニ過日來政府當局ノ御答ハ、戰時ノ情況ハ千變萬化ナリ、從ッテ此ノ勅令ニ依ッテ定メル所ノモノモ千

變萬化デアル、豫メ一定シテ置クコトハ出来ナイ、是ハ即チ此ノ根本計畫ガ出来テ居ッテ、何時モ全部ヲ總動員スルノデナクシテ、其ノ一部鐵ニ關スル部類、或ハ生活上ノ某品ニ關スル部類、或ハ今少シク擴ゲタモノ、縮マツタモノト云フヤウニ、其ノ戰時對敵ノ情況ニ依ッテ動員ノ様式モ亦動イテ來ルノデアリマス、此ノ點ヲ過日來、此ノ勅令ノ説明ニ關シテ御答辯ニナツテ居ルノデアラウト思ヒマス、前ノ綜合ト云フ方ハ、早く申セバ内輪ノ計畫デアルカラ、ソレニハ言及サレズニ、戰時實行サレル所ノ勅令ノ範圍ニ付テ今迄ハ御答辯デアツカト思フノデアリマス、過日來動員ノ敏活圓滿ナル實行ニハ國民ノ協力ヲ要スル、即チ官民一致ノ協力が絶對必要條件デアルト云フコトハ、首相初メ當局ヨリ屢々承ツタ所デアツテ、誠ニ御尤ト我々モサウ考ヘテ居ルノデアリマス、先程ヨリ松村君カラモ此ノ點ニ付テ細カイ御話ガアツタヤウニ承知シマス、國民ニヨリ多ク動員ノ範圍様式等ヲ知ラセテ置キマスコトハ、動員ノ實行ヨリ敏活圓滿ニ行フコトガ出來ルノデアルト存ジマス、此ノ知ラスト云フ點ニ付テハ、種々軍機ノコトトカ、祕密トカ云フ御話ヲ承リマスガ、此ノ軍事上ノ機密ハ軍絶對必要デアツテ、苟モ軍

事ノ機微ヲ察スルニ足ルコトハ十分ニ避ケナケレバナリマセヌ、機微ヲ察スル、具體的デナクテモ……併シナガラ、ソレハ多ク數ニ關スルモノデ、一國ノ資源ヲ有力ニ統制運用スルト云フ考ハ……

○委員長(子爵渡邊千冬君) チョット大島君ニ申上ゲマスガ、只今質問ノ時間デスガ、ドウカ質問ノ要領ヲ……

○大島健一君 是ハ質問ノ積リデス、是ハアトニ纏メテ一二箇條伺ヒタイト斯ウ思ヒマス……一國ノ總動員ヲ行フト云フコトハ、是ハ普通ノコトデアリ、是ガ計數ニ互ラヌ以上ハ、軍ノ大小トカ、行動トカ云フコトヲ推測スルコトハ餘程ムツカシイノデゴザイマスカラ、從テ相當ノ點ハ示シ得ルモノト思フノデアル、當委員會ニ於キマシテモ、各委員諸公ヨリ動員ノ範圍、使用ノ目的等今少シ明ルクシテ、此ノ不安ヲ除キタイト云フ御議論ガアル、私共モ最初ヨリサウ考ヘテ希望ヲスルノデアリマスガ、是ハ今後行ハルベキ動員計畫ヲ考ヘマス、其ノ資料ナルモノガ本法ノ二十一箇條ノ調査報告ノミデハ足りマセヌ、過日此ノ動員法ノ施行ニ當ッテモ、此ノ御示ニナツタ昨年來或ハ其ノ以前カラモアリマスガ、國家總動員ノ方ノ參考法令ト云フモノヲ、尙續イテ其ノ效力ヲ有スル

モノデアルト云フ御話デアリマシタガ、此ノ動員ノ計畫ヲ實施スル上ニハ斯様ナモノガ幾多要ラウト思ヒマス、又第二ニハ戰時ノ一條ヨリ二十條ニ至ル間ノ諸條ニ示サレテアル所ノ勅令ト云フモノモ戰時ノミナラズ平時ヨリ動員計畫ノ上ニ必要ノアルモノハ隨時之ヲ發布サレテ、ソレ等ニ依ッテ益々動員ノ範圍、程度等ガ摸索サレテ、此ノ國民一般ノ不安ガ除カレル……少クトモ輕減サレルデアラウト思ヒマス、又誰方カノ御質問ニ對シテ、此ノ法案モ釘附ケデハナイノデ、隨時必要ニ依ッテ改正スルノデアルト云フヤウナ御答モ伺ッテ居リマス、此ノ計畫ガ進ミ、或ハ演練等ガ行ハレルト云フヤウナコトニ從ヒマシテ益々此ノ法案ノ補正ガ行ハレルコトガアラウト思ハレマス、斯ウ云フヤウナ情況ニナルモノト私ハ考ヘマスガ、此ノ前ニ伺ヒマシタ一般ノ綜合的計畫ガ平時ヨリ行ハレテ、其ノ計畫ガアツテ初メテ戰時ニソレニ依ッテ戰時實行ノ部分ヲ定メル勅令ガ出ルモノト斯ウ考ヘマスルガ、ソレデサウナルベキモノデアルカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ第二ニハ、只今申シマシタ戰時ノ規定ノ中ニアル勅令モ、勅令ヲ以テ定ムト云フ委任立法モ平時ヨリ所要ニ應ジテ行ハルベキモノト私

ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、左様デアリマスカ、如何デアリマスカト云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス、此ノ二點ガ伺ヒタイト考ヘテ居ル點デアリマス

○政府委員(瀧正雄君) 聽洩シタカモ知レマセヌカラチョット御伺ヒラシナガラ御答辯シタイト思ヒマスガ、勅令ニ依ッテ公布サレルカドウカト云フ第一ノ御質問デシタト思ヒマスガ……、勅令ノ内容ガ公布サレルカドウカト云フ……

○大島健一君 第一ノ御尋ラシマシタノハ、綜合計畫ガ不斷行ハレ、又ソレニハ各種ノ計畫モ行ハレマセウガ、兎ニ角其ノ綜合計畫ノ全部ヲ行ヒ、一部ヲ行ヒ、或ハ斯ウ變更シテ行フト云フヤウナ勅令ハ是ハ戰時ニ多クハ執行命令ニナリマスカ知ラヌガ、委任立法モ加ハリマセウ……ト云フモノガ是ハ戰時ニ出ルノデアツテ、過日來政府ノ千變萬化スルゾト云フ御答ハ其ノ邊デアツトラウト考ヘル、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス、第二ハ只今仰ッシャタ此ノ戰時ノモノデ、平時ハ唯ハ其ノ範圍ヲ國民ニ知ラセルダケデアアル、斯ウ云フ御説明ノヤウニ伺ヒマシテ、此ノ中ハ最早戰時デナケレバ何等變ルコトハナイモノデアアル、斯ウ云フ風ニ唯ハ戰時はダケノモノヲ動

員スルゾト云フコトヲ示シタノデアル、斯ウ云フ御話ノヤウニ私ハ了解シテ居リマスガ、併シ是ハ此ノ勅令デ此ノ簡條ノ中ニモ平時ニ多少ノ勅令ナリ、或ハ他ノモノナリ、即チ他ノ法令ニ依ルナリシテ示シテ置ク必要ガ漸次起ルト私ハ見テ居ルノデアリマス、ソレガ起ツテ、ソレニ關スル法令ノ出ルコトハ法案ノ範圍ヲ縮メルモノデアルト見タイノデアリマス、從ツテ公布サレヌケレバ私ノ希望ハ達シラレナイ譯デアリマス

テ只今ハ軍需ノ方面ハ法的根據ガアリマスケレドモ、民需ノ方面ニ付テ其ノ不安ガアリマスノデ、本法ノ如キモノヲ御制定ヲ願ッテ置キマス、機ヲ失セズ實施シ得ルト云フコトニナリマスノデ、其ノ反射作用ト申シマス、其ノ結果ト致シマシテ、平素ニ於ケル綿密ナル國家總動員計畫ト云フモノガ本氣ニナツテ立テラレルコトニナリマス、即チ詳細ヲ極メルコトニナリマス、言換ヘマスレバ、精密ヲ盡スコトガ出來ルコトニナリマス、サウシテ行届イタ國家總動員計畫ト云フモノガ出來ル次第デアリマス

樹ッテ居ル次第ゴザイマス、サウシテ其ノコトハ第二ノ御問ヒダト想像シマスガ、勅令ヲ以テ國民ニ知ラセルカドウカ、漠然ト大綱ヲ決メテソレヲ國民ニ知ラシテ置クト云フノミデハナクシテ、具體的ノ案ヲ國民ニ知ラセルカドウカト、斯ウ云フ點デアリマスガ、戰時ノ規定ニ付テモ差支ノナイモノハ出來ルダケ勅令ヲ以テ事前ニ公布ヲ致シマシテ、其ノ計畫ノ内容ヲ國民ニ周知セシメルヤウニ努メルト云フコトハ、出來ルダケサウ云フ方法ヲ講ジテ行キタイト考ヘテ居ル次第ゴザイマス

スル御答ヲ得タイト思ヒマシタカラ、總理大臣ノオイデガアレバ結構ト申シタノデアリマス、總理ニ對スル私ノ質問ハモウ宜シウゴザイマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) ドウゾアナタノ御質問ヲ願ヒマス

○大島健一君 只今伺ッテ居ル點ハ不安ト云フコトノ成ルタケ省カレルヤウニ、ソレニハ、成ルベク此ノ計畫ノ内容トカ云フ方ノ意味ヲ持ッテハ居リマセヌ計畫ヲスル上ニ是等ノ條項ノ示シテ居ル勅令決ムベキコトヲ今日決メテ置イタ方ガ宜イト云フノデ、サウ云フコトガアレバ此ノ勅令ガ平時ヨリ出サレル、ソレガ公布サレ、バ不安ノ點ガ其ノ度ニ幾分減ズルト、斯ウ云フ方ニ重キヲ置イテ考ヘテ居ル、併シ之ハ反對ニ計畫スル方カラ言ヘバ、是ガ皆計畫ノ資料ニナル譯デアリマスカラ、サウ云フ點ヲ考ヘマスルカラ、サウ云フヤウナモノヲ公布スル、斯ウ考ヘタノデアリマス、是ハ只今ノ總裁ノ明瞭ナル御答辯デ明カニ承知致シマシタ、前ノガ私ノ考ヘテ居ルノト、當局ノ計畫ノ考ヘトガ少シ違ッテ居ルヤウデアリマシテ、色々ノ案ヲ立テテ居ルト云フヤウニ承知シマシタガ、是モマア出來ヌコトハアリマスマイガ、國家ノ總動員法ト云フモ

若シ不十分デアッタラ御注意ヲ願ヒマス、色々千變萬化ト云フヤウナ言葉ヲ使ッテ、勅令ノ内容ヲ今カラ明カニスルコトガ出來ナイト云ッテ居ルケレドモ、併シ非常ニ平時カラ綿密ナル計畫ヲ立テテ進ンデ行カナケレバナラスノデヤナイカ、斯ウ云フヤウニ第一ノ點ヲ御聽取リシタノデアリマスガ、御言葉ノ通り國家總動員計畫ナルモノハ平時カラ綿密ナル計畫ヲ立テテ置カナケレバナリマセヌ、ソレニ付キマシテハ、各種ノ腹案ヲ作ッテ置ク必要ガアリマス、併シ其ノ各種ノ腹案ナルモノガ法的ノ根據ガアリマセヌト一旦戰時ニナツタ場合ニ直チニ其ノ腹案ガ實際ニ運用サレルカサレヌカガ不明ニナリマス、從ッ

際ノ戰時情態ニ入りマス、相手國ガ決ッテ參リマス、其ノ相手國ガ決リマス、第三國トノ關係ガ決ッテ參リマス、或ハ友好關係ヲ持ツモノ、或ハ友好關係ヲ持續シ得ナイ國ガ生ジテ參リマスノデ、其ノ方面カラ物資ノ供給ヲ仰ガウト計畫シテ居ッタ所ニ或ハ齟齬ヲ來シ、或ハ色々ナ變化ヲ生ズルト云フヤウニナリマスノデ、千變萬化ト云フ言葉ヲ使ッテ次第ゴザイマス、ケレドモ其ノ時ニ應ジテ最大ノ限度ノ計畫、或ハ中間ノ計畫、或ハ最小限度ノ計畫ト、各計畫其ノモノハ絶エズ綿密ニ研究サレ立案サレツ、アル譯デゴザイマスカラ、常ニ計畫ハ

○委員長(子爵渡邊千冬君) 大島君ニチヨット申上ゲマスガ、御質問ノ御發言ヲ御止メ申スト云フ意味デ申上ゲルノデアリマセヌ、今朝總理大臣ニ、極メテ短時間デ宜シイカラ質問ヲ致シタイト云フ御希望ガアリマシテ、其ノコトヲ總理大臣ノ方ニモ私ハ通ジテ置キマシタ、又外ノ委員ノ方ニモ通ジマシタ、從ッテ午前中ニ總理大臣ニ質問ヲサレタイト云フ方ガマダアト三人オアリニナルノデス、モウアト七分デオ畫デスカラドウゾ簡潔……

○大島健一君 僅カデゴザイマスカラ私ハ差控ヘマセウ、今少シ企畫院總裁ニ御伺ヒスレバ宜シウゴザイマスカラ、總理大臣ノ方ハ遠慮致シマス、總理大臣カラ大綱ニ關

○委員長(子爵渡邊千冬君) ドウゾアナタノ御質問ヲ願ヒマス

○大島健一君 只今伺ッテ居ル點ハ不安ト云フコトノ成ルタケ省カレルヤウニ、ソレニハ、成ルベク此ノ計畫ノ内容トカ云フ方ノ意味ヲ持ッテハ居リマセヌ計畫ヲスル上ニ是等ノ條項ノ示シテ居ル勅令決ムベキコトヲ今日決メテ置イタ方ガ宜イト云フノデ、サウ云フコトガアレバ此ノ勅令ガ平時ヨリ出サレル、ソレガ公布サレ、バ不安ノ點ガ其ノ度ニ幾分減ズルト、斯ウ云フ方ニ重キヲ置イテ考ヘテ居ル、併シ之ハ反對ニ計畫スル方カラ言ヘバ、是ガ皆計畫ノ資料ニナル譯デアリマスカラ、サウ云フ點ヲ考ヘマスルカラ、サウ云フヤウナモノヲ公布スル、斯ウ考ヘタノデアリマス、是ハ只今ノ總裁ノ明瞭ナル御答辯デ明カニ承知致シマシタ、前ノガ私ノ考ヘテ居ルノト、當局ノ計畫ノ考ヘトガ少シ違ッテ居ルヤウデアリマシテ、色々ノ案ヲ立テテ居ルト云フヤウニ承知シマシタガ、是モマア出來ヌコトハアリマスマイガ、國家ノ總動員法ト云フモ

ノノ眼目ハ、我ガ是ダケノアルカヲ如何ニ
戰時ニ全馬力ヲ掛ケテ使ヘルカト云フコト
ヲ決メルノガ是ガ根本デアルト思フノデア
リマス、其ノ根本方策ノ定ツタ上ニ、ソレニ
全國家ノ力ヲ發揮スル所ノ大イナル綜合計
畫デアリマス、ソレ故ニ全部是ヲ行フカ、
所謂其ノ時ノ對敵ノ情況ニ依ッテ、只今御
話ノアツタヤウニ、其ノ一部ヲ行フカト云
フ、斯ウ云フコトガ出デ參ル、其ノ一部ヲ
行フト云フノガ過日來ノ御答ニ、漸次幾多
變化スルカラト、斯ウ云フノデ細カイコト
ヲ決メル、是ハ御尤モ千萬デアアル、サウア
ルベキダト思ッテ居リマスガ、其ノ計畫ガ
出來テノ上ニ實行ヲスベキデアアル、サウス
ルト主ニソレハエライ立法事項デナクシテ
執行スルコトハ大イニアル、サウ云フノデ
アラウト云フコトヲ伺ッタノデアリマス、
大概御分リニナリマシタラウト思ヒマスカ
ラ、私ノ質問ハ之デ止メマス

○山岡萬之助君 時間ガアリマセヌカラ、
極メテ簡單ニ趣旨ノアル所ヲ申上ゲテ總理
大臣ノ御説明ヲ煩シタイト思ヒマス、私ハ
此ノ本案ノ審議ニ入ルニ際シマシテ、衆議院
ニ於テ憲法違反ノ法案デアルト云フコトノ
議論ガ私ノ見ル所デハ餘リハッキリ結末ガ
付イテ居ラス、即チサウ云フ風ノ事柄ノ議

論ガアツテ、本案ガ通過シテ參リマシタカラ、
本院ニ於テハ何處迄モ是ハ憲法ノ條章ニ牴
觸シナイモノデアルト云フコトヲ明カニシ
タイ考ヨリ致シマシテ、其ノ後質問應答ヲ重
ネマシタノデアリマス、大體ニ於テハ政府
ノ考ヘル所ヲ了承致シタノデアリマスガ、
併シ御説明ノ徑路ヲ見マスルト云フト、少シ
ク疑惑ヲ存スルヤウナ點ガアリマスノデ、
茲ニ總理ノ言明ヲ得タイ次第デアリマス、
ト申シマスルノハ、私ノ質問ヲ致シタ點ハ
主トシテ形式論ヲ致シタノデアリマス、即
チ憲法ノ上カラ見タ考方ヲ申上ゲテ、三十
一條トノ關係ニ付テ政府ノ意ノアル所ヲ伺
タノデアリマス、ソコデ本案ハ實施規定ニ
付キマシテハ總テ「戰時ニ際シ國家總動員
上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ」
ト千篇一律ニ書キ表シテアルノデアリマス、
サウ云フヤウナ所カラ自然ニ立法技術上斯
様ニ出來テ居リマスルカラ疑惑ヲ生ジテ來
ルコトニナルノデアリマス、ソコデ各條ヲ論
議致シテ見マスルト云フト、實際ニ於テ一
三ノ條文ハ憲法九條ニ於テ事ガ足りテ居ル
ノデアリマスカラ、「勅令ノ定ムル所ニ依
リ」ト云フ規定ハナクテ此ノ法案ハ十分ニ
運用出來ルノデアリマス、十分ニ運用出來
ル場合ニハ左様ナ規定ヲ置カナイ方ガ宜カッ

タノデアリマス、從ッテ此ノ規定ハ政府ノ意
思ニ於テハ修正スル考ハナイカト云フコト
モ伺ッタノデアリマスルガ、其ノ中ニハ時ニ
依ルト委任命令即チ法規命令モ其處ヘ入ッ
テ來ル場面ガアラウカト思ッテ居ルト云フ
大體御趣旨デアリマス、其ノ御説明ガ實質
上ノ問題ニ迄及ビマシテ戰時ニ於ケル關係
ハ千變萬化デアアルカラドウシテ見タ所デ委
任命令ヲ出サナケレバナラヌヤウナ場合ガ
起キルカモ知レマセヌ、斯ウナッテ來マスカ
ラ、其ノ前ニ段々伺ッタ所ノ憲法竝ニ此ノ各
本條ノ示ス所ノ規定以外ニハ出デナイモノ
デアルト云フ御説明ニ對シテ、千變萬化デ
アルカラドウ云フ規定ガ出テ來ルカ分ラナ
イト云フ御説明デアアルカラ、ドウモ其ノ範
圍ヲ超脱スル處ガ其ノ説明カラハ出テ來ル
ノデアリマス、其處ガ結局本案ノ形式論ニ
於テハ緊急勅令乃至ハ三十一條ノ非常大權
一言ニシテ申セバ大權命令ニ牴觸スルノデ
アルト云フ所ニ問題ガ起キテ來ルノデアアル
ト思ヒマス、デアリマスカラ此ノ點ニ於テ
私ハ明カニ致シテ置キタイコトハ各本條ニ
於ケル所ノ勅令ノ定ムル所ニ依リト云フコ
トハ、條文ニ依リマシテハ確カニ委任命令
デアリマス、此ノ命令規定ガナケレバ本案
ハ實施出來ナイノデアリマス、處ガ私ハ二

三ノ條文ニハ全ク要ラナイト考ヘラレルノ
デアリマシテ、サウ云フコトニ付キマシテ
ハ憲法九條ヲ以テスレバ事ハ足りテ居ル、
故ニサウ云フ場合ニ若シ法文ガナケレバ此
ノ法案ト云フモノガ軍需工業動員法ノ場合
ノ如クニ二十有餘條アリマシテ、軍需工業
動員ハ三條ホカ、勅令ノ定ムル所ハ三ツ四
ツノ所ニ、サウ云フ所ニ規定ガアルダケデ
アリマス、ソレデアリマスルカラ此ノサッキ
述ベマシタヤウニ各本條ニアリマス點ノ説
明ノ點ニ付テハ政府ハ左様ナコトニスルコ
トハ、動モスルト此ノ立法事項ガナイトハ
限ラナイ、ソレデ原案ガ正當デアルト云フ
御話デアリマス、私モ強ヒテソレヲ修正ス
ル考方ヲ今シタクナイ、私ノ見ル所ニ依レ
バ、執行命令ト云フコトニナリマスレバソ
レハモウ注意規定ダト斯ウ考ヘレバソレデ
足リルノデアリマス、私ハ折角ソレヲ維持
セヨウト云フ御主張デアリマスル以上、強
ヒデドウシテモ削除セナケレバナラヌト云
フコトハ申サナイノデアリマス、ソコデ總
理大臣ノ言明ヲ得タイノハ、各本條ニ斯ク
ノ如キ規定ガアツテハ決シテ此ノ勅令ト云
フモノハ執行命令ニ於テ事足りル所ヲ超越
シテ、濫リニ委任命令ヲ出ス意思ハナイ、
其ノ點ニ於テモ憲法ノ條章若シクハ本案ノ

規定ノ範圍ニ止マルモノデアル、其ノ最高限度ニ此ノ勅令ヲ發揮シテモ、ソレ以上ニ出ナイト云フコトニ解シテ御所見ヲ第一ニ伺ヒタイ、モウ一點ハ實質上カラ見マシタル本案ノ關係デアリマス、本案ノ各本條ニ規定致シマスル内容ヲ見マスト云フト、此ノ點ニ付キマシテハ私ハマダ各本條ヘ入ッテ内容ヲ承ッテ居ラスノデアリマス、各本條ノ規定ヲ見マスト云フト、此ノ委員會ニ於テ論議致サレマシタ四條、五條ノ如キ是ハ帝國臣民ヲ總テ徵用出來、又第五條ニ於テハ總動員業務ニ付テ總テノ國民乃至團體ノ業務ニ付協力セシムル、斯様ニ書イデアリマシテ、全ク是以上法ノ目的物トシテ何物ヲモ餘マシテ居ラナイ、斯ウ申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、ソレカラ其ノ他ノ規定ヲ見マシテモ多クノ場所ニ於キマシテ例示的ニシテ其ノ他勅令ノ定ムル所、指定スルモノ、或ハ例ヘバ此ノ六條ノ規定ナドヘ行ケバ勞働條件ノ規定ニ付キマシテ例示的ニ其ノ他ノ勞働條件、或ハ又第八條ノ物資ノ需給調整ノ規定ノ如キモ、生産、修理、配給、讓渡其ノ他ノ處分、サウ言ッタ風ニ廣ク規定ガアルノデアリマス、本案ノ最モ此ノ重要ナル關係ハ矢張り財産關係デアリマシテ、其ノ他ノ先ニ述ベタル臣民ノ徵用、協

力、或ハ戰時ニ關スルコト、是ハモウ其ノ一部分デアリマス、大部分ハ財産ノ關係デアリマス、ソコデ只今第八條ヲ申上ゲタノデアリマスルガ、現今支那事變ニ於テ臨時立法ヲサレタル範圍ヨリモ餘程擴大サレテ居リマス、殊ニ十一條ハ例示的ニ唯ソレダケヲ申上ゲマスト、會社ノ利益金ノ處分、償却其ノ他經理ニ必要ナル命令、斯ウナリマスト云フト今日ノ經濟界ハ個人營業ト云フモノハ餘リアリマセス、大體會社デアリマス、サウスルト會社ノ經營ニ關シテ必要ナル命令ヲ爲スト云フコトニナリマスト云フト、會社事業ノ總テニ關シテ命令ガ出來ル、是ハモウ寧ろ實際論カラ參リマスト云フト、恐ラク會社ノ一々ノ運營ノ世話ヲ政府ガスルト云フコトハ私ハナイト思フ、今朝程論議セラレマシタル通り必要ノ範圍ニ止マルノデアリマス、然レドモ斯クノ如キ規定ガアリマスル以上經濟界ニモ平時運營ノ關係ニ於テ政府ガ命令ヲ出シ得ルト云フコトニ、サウ云フ風ニ全體ノ構成ガ極メテ概括的デアリマス、何ガ故ニ斯様ニ概括的ニ規定ヲ致シタカト云フコトヲ考ヘマスレバ、國家總動員ノ計畫上、國力ヲ擧ゲテ戰爭ニ從ハナケレバナライ、ソレニハ如何ナル場合ニ於テモ差支

ナイヤウニ規定ショウ、斯ウ云フ考方カラ斯様ニナッタと思フノデアリマス、其ノ考方ハ是ハ一應是ナリト言ハナケレバナラス、併シナガラ憲法第二章ニ於ケル法律ノ保障シタル臣民ノ權利ハドコ迄モ保障ヲ法律上シナケレバナラス、此ノ考方ニハ全ク正面ニブツカッテ居ルノデアリマス、茲ニ於テカ概括的規定デアッテ、極メテ廣イノデアルカラ、茲ニ憲法ノ精神ニ牴觸スルノデハナイカ、斯様ナ考ノ出テ來ルノモ私ハ當然ダト思フノデアリマス、ソコデ過去ノ立法ヲ振返ッテ一例ヲ申シマスレバ、例ヘバ徵發令ノ如キモ、徵發令ハ其ノ第十二條ニ於キマシテ九箇ノ項目、徵發スベキ物資乃至ハ人夫ニ付テ擧ゲテ居リマス、サウシテ其ノ規定ヲ運用スルニ付キマシテハ以下數條ニ互リマシテ規定ヲ精密ニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ立法ハ憲法發布以前ニ出來マシタル所ノモノデアリマス、ソレガ今日ハ憲法實施ト共ニ法律ノ關係ニ多少改正サレテ居ルノデアリマスガ、大體現行ハ其ノ通りデアリマス、サウ云フ時代ニ於キマシテモ、各個ノ場合ヲ精密ニ規定致シテ居ルノデアリマス、本案デ參リマスト云フト、サウ言ッタ關係ハ一條ニ盡シテ居ル場合ガ多イノデアリマス、ソコデアリマスルカラ、本案ヲ運用致

シマスルニ付キマシテハ、相當ナル是ハ考慮ヲ致サヌケレバナラス、斯ウ考ヘルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ、之ヲ運用スルニ付テハ、第一ニ人ガ良シクナケレバナラス、人ヲ得ナケレバナラス、斯ウ云フコトハ衆議院ニ於テ御説明ニナッタノデアリマス、從ッテ官吏制度ヲ改革スルト云フ言明ヲセラレテ居リマス、是ハ誠ニ結構ナコトデアルト考ヘマス、ソレカラ尙此ノ總動員ト云フコトハ十數年來ノコトデアアルニ拘ラズ、國民ノ多クハ餘リ知ラナイノデアリマス、資源調査法ガ昭和四年ニ出來マシテ既ニ十年ノ歲月ヲ經、此ノ法律ニ依リマスルト云フト、人的、物的ノ資源ヲ調査スル、而シテ其ノ調査ニ付テハ官吏ハ各所ニ臨檢シテ檢査ガ出來ル、其ノ他報告ヲ徵セル、斯ウ云フ風ニナッテ居リマスルカラ、本體ハ極メテ短イ條文デアリマスルケレドモ、本案ト同ジ所ヲ働イテ行クノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、政府ノ御説明ニ依ッテ既ニ動員計畫ト云フモノハ三回以上モ出來テ居ル、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、左様ナ次第デアリマスルカラ、國民ハモウ少シ此ノ總動員ト云フコトニ理解ガナケレバナラナカッタト私ハ思フノデアリマス、此ノ點ハ何物カ私ハ足ラヌト思フノデアリマス、ソコ

デ政府ニ於キマシテハ、一面事變ノ勃發ト共ニ、國民精神ノ總動員ト云フ御計畫ヲ致サレタ、精神ノ方ハ大イニ國民ニ對シマシテ、日本精神其ノ他正ニ國民ノ考ヘナケレバナラヌ點ヲ宣傳セラレマシテ、相當ニ效果ガ舉テ居ルコトハ結構デアリマス、此ノ方面ハソレニ對シテ申シマスレバ、人的、物的ト申シマスルガ、結局物質的ノ總動員デアルノデアリマス、物質的總動員ノ關係ヲ精神の總動員ト結び付ケマシテ、兩面カラ國民ニ之ヲ明カニシテ、サウシテ情報部ニ於テ毎月發行致シテ居ル所ノ雜誌等モゴザイマス、其ノ他精神動員ノ計畫ハ頗ル大キイモノデ、全國ニ互テ居リマス、デアルカラ、ドウカ此ノ點ニ於テハ今日迄ノヤウナコトデナク、モウ少シ此ノ總動員關係ニ付テ國民ノ能ク了知スルヤウニスルコトガ私ハ必要デアラウト思ヒマス、而シテ更ニ戰時ニ當リマシテ此ノ概括的ナ廣キ規定ヲ運用致シテ參リマス時ニハ、憲法ノ第二章ノ精神ヲ體セラレマシテ、最小程度ニ之ヲ運用シテ行クト云フコトハ憲法ノ根本精神カラ當然デアルト私ハ考ヘマス、ソレデアリマスルカラシテ此ノ實質的ノ方面カラ見マシタル所ノ本案ニ對スル態度ハ、形式的ノソレト違ッテ最小程度デナケレバナ

ラス、形式面カラ見マシタルモノハ本案ノ規定ノ範圍ヲ逸脱シナイト云フ所デアリマシガ、實質面カラ見マシタル所ノモノハ何處迄モ最小程度ニ之ヲ運用シテ行ク、ソコデ政府ガ段々御説明ニナリマシテ、戰爭ノ起キタサウ云フ場面ニ對シテ千變萬化ノ變化デ豫測ガ出來ナイカラ、今カラ勅令ニ付テ云フコトハナラヌト云フコトハ正ニ茲ニ働クト思フ、ダカラシテ其ノ場合ニ於テ時代ニ最モ適應シタル所ノ制度ヲ御立テニナリマシテ、サウシテ之ヲ戰時ニ際シテ働カセルニハ國民ニハッキリト御示ニナッテ、國民ヲシテ少シモ此ノ總動員ニ付テ不安ノ念ヲナイ、即チ不安ノ念ナクシテ全力ヲ舉ゲテ國家ノ御役ニ立ツ、斯ウ云フ心掛デ之ヲ運用スルコトガ私ハ大切デアルト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、實質的ニ見マシタル場合ニハ幸ニ勅令ニ依ルト云フコトハ「定ムル所ニ依ル」トアリマスカラ、此ノ規定ヲ働カセマシテ、最小程度ノ規定ヲ國民ニ明カニシテ御進ミニナルコトガ肝要ダト私ハ考ヘマス、其ノ意味ニ於キマシテ此ノ審議會ノ活動デアリマス、勅令ヲ發布致シマス場合ニハ其ノ要項ヲ之ニ示シテ審議セラレルト云フコトハ既ニズット御述ニナッテ居リマス、デ、本日此ノ委員會デ更ニ勅令ニ關スルコトデ

ナクテモ本案ヲ運用スル、重要ナルコトハ此ノ委員會ニ諮ルデアラウ、斯ウ云フ御説明ガアリマシタ、私ハ正ニ斯クノ如クアルベキダト考ヘテ居ッタノデアリマス、サウ云フ次第デ審議會ヲモ十分活動セシメテ、最小程度ニ此ノ實質關係ニ於テハ働カシテ以テ、國民ノ本當ノ協力ヲ得ル態度ニ進ムコトガ出來ルデアラウ、斯クノ如クナリマスルニ於テ、本案ニ對スル國民ノ不安ノ氣分モナクナリ、大イニ了解出來ルモノガアルノデハナイカ、從ッテ此ノ點ニ關シマシテ第一第二ノ點ニ付テ總理大臣ノ御言明ヲ得テ置キタイト考ヘマスノデアリマス

○國務大臣(公爵近衛文麿君) 第一ノ御尋デゴザイマスガ、是ハ全ク山岡サンノ御考ノ通りデアリマス、勿論法律ニ定ッテ居リマスル範圍ノ外ニ出ルコトハナイノデアリマス、又必要ノナイ強度ノ規定ヲ作ル考モナイ譯デアリマス、次ニ此ノ法案ノ運用ニ付キマシテ色々御心配ノ點ハ誠ニ御同感デアリマス、政府ト致シマシテハ一面ニ於キマシテ官吏制度ノ改革ヲ現ニ研究ヲ致シテ居リマス、又總動員ノ認識ヲ一般國民ノ間ニ普及セシメルコトニ付キマシテモ、只今ノ御説ト全ク御同感デアリマシテ、其ノ方面ニ付キマシテモ十分努力致シタイト考ヘマス

○山岡萬之助君 只今總理大臣ヨリ御答辯ヲ得マシテ満足ヲ致ス者デアリマス、左様ナ次第デ此ノ本案ノ運営ニ付キマシテハ、此ノ委員會ノ最初ニ於キマシテ、總理ノ御言明ニナリマシタヤウナ、私ハ斯クノ如キ廣キ規定ガアリマスルカラ、此ノ以外ニ決シテ非常處置ヲ以テ即チ憲法ノ與ヘラレタル非常處置デアリマシテモ、其處ニ出デル必要ハナイノデアル、斯ウ云フ言明ヲ總理ヨリ爲サッテ居ルノデアリマスカラ、私ハ斯クノ如クシテ本案ガ進ム場合ニ於キマシテ、只今ノ御説明デ満足致シマス

○子爵岡部長景君 時間ガ非常ニナクナリマシタカラ、極メテ簡單ニ趣旨ノアルコトヲ御質問申シタイト思ヒマス、數年前頃ニハ非常ニ廣義國防ト云フ聲ガ盛ニ唱ヘラレタモノデアリマス、私ハ其ノ當時カラ今日ノ國際情勢ニ處シテ全ク廣義國防ノ意義ヲ徹底サセナケレバナラス、政治ニ經濟ニ、教育ニ、思想ニ、文化ニ、各方面ニ互テ國民總立チニナッテ此ノ國難ニ處シテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ痛切ニ考ヘテ居ッタノデアリマス、今日國家總動員法案ト云フモノハ寧ろ其ノ廣義國防ノ一部ニ當ルモノデハナカラウカ、又此ノ法案ノ通過ダケ

デハ安心シテ國防ノ目的ヲ達成スルコトハ
迎モマダ不完全デハナカラウカト云フコト
ヲ考ヘルノデアリマス、勿論此ノ總動員法
案ト云フモノハモウ度々諸君ノ質疑應答ニ
アリシタヤウニ、全ク憲法制定以來空前
ノ異例ヲナス大法案デアルト云フコトハ考
ヘマスルガ、又色々憲法上ノ解釋ナドニ
付テモ皆サンノ御意見ヲ私ハ能ク伺ッテ了
承致シテ居ル譯デアリマスルガ、併シ此ノ
廣義國防、今日ノ國際情勢ニ處シテ行クノ
ニハ、斯ウ云フヤウナ法案ヲ必要トスルト
云フコトハ認メテ居ル譯デアリマス、デ色々
御説明ニアリシタヤウニ細カイコトヲ
一々法律ニ規定出來ナイト云フコトモ了解
スルノデアリマスルガ、此ノ重大ナル法案
ヲ實行シ、尙ホ更ニ進ンデハ此ノ廣義國防
ト云フコトヲ實際ヤッテ行カケレバナラ
ヌト云フ情勢ニ處シマシテ、此ノ大事業ヲ
國家トシテ、國家ト云フノハ是ハ政府バカ
リデアリマセヌ、國民舉ッテ之ニ當ラナケレ
バナラヌト云フノニハ、其處ニ大キナル精神
ガ満チ／＼テ居ナケレバナラヌト云フコト
ヲ私ハ感ズルノデアリマス、ソレニハ今日
此ノ國際情勢カラ申シマス、或ハ思想的
ノ如キ、或ハ經濟的ノ如キ方面ニ於キマシ
テハ非常ニ外國カラノ脅威ヲ受ケテ居ルノ

デアリマシテ、是等ハ本當ニ突破スルノデ
ナカタナラバ、日本ノ將來ハ安心出來ナイ
ト思フノデアリマス、ソレニ對シテ私ハ此
ノ廣義國防ノ大精神、延イテハ國家總動員
運用ノ大精神ト云フモノハ飽迄モ日本ノ國
風ヲ尊重シテ國情ニ副フタル線ニ出來ルダ
ケソレヲ遵奉シテサウシテ本當ニ日本ノ姿
ヲ現ス、顯現スルト云フコトニ大精神ヲ置イ
テ戴カナケレバナラヌト思フノデアリマス、
此ノ點ニ付キマシテ私モ今後此ノ重大ナ
ル法案運用ノ最初ニ當リマシテ總理大臣
カラハッキリシタ大精神ノ御言明ヲ戴キタ
イト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、希望
スル次第デアリマス、ソレヤラ尙此ノ大法
案、廣義國防ト云フヤウナコトハ、是ハ私
ハ企畫院總裁ガ今居ラレマスガ、今日ノ企
畫院位ノ規模ノモノデ到底出來ルモノデナ
イト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、是ハド
ウシテモ軍事上ニ參謀本部ガアルガ如ク、
是ハ總テ國防ノ動員計畫ヲシタリ何カスル
ノニハ、モット完備シタル制度ヲ一ツ持ッテ、
假ニ申シマスレバ國防省ト云フヤウナ大機
關ヲ一ツ整備サレテ、ソコデ平時ノ準備及
ビ此ノ運用ハ戰時ニ際シテ愈、此ノ動員法ガ
立法サレル場合等ニ付テ十分ナル研究準備
ヲ整ヘテ戴ク、又同時ニ國民ニ向ッテモ十分

此ノ意義ヲ徹底サセルヤウニ啓發モサレ、
更ニ進ンデハ此ノ法案ノ運用バカリデナク、
今申シタヤウナ廣義國防ト云フコトニ付テ
ノ大方針ヲソコデ十分檢討シ又實行シテ戴
クト云フコトハ必要デハナイカ、今日ハ從
來ノヤウナ國際情勢デハナクシテ、全ク國
ヲ擧ゲテカカラナケレバナラヌノデアリマ
スルカラ、ドウカ私ハ政府ニ於テ其處迄一
ツ國防問題ニ付テ本腰ニカカッテ戴キタイ、
國防省設置ノヤウナ御意見ハアリマセヌカ
ト云フコトニ付テ第二ニ質問致シタイト思
ヒマス、尙附加ヘテ申シマスルガ、今日此
ノ支那事變ニ當ッテモ日本ノ忠君愛國ノ念
ト云フモノハ戰線ニ於テモ亦銃後ニ於テモ
誠ニ麗ハシキモノガアッデ、是ハ我々モ豫テ
カラサウアルベシト信ジテ居リマシタガ、
今日ノ事變ニ際シテ痛切ニ體驗シテ居ル
次第デアリマス、併シ先ニモ申シマシタヤ
ウナ思想的ニモ、經濟的ニモ、此ノ世界的
ノ混亂時代ニ捲込マレテ居ル時代デアリマ
スカラシテ、我々トシテハ飽ク迄モ此ノ國
民精神ヲ永久ニ傳ヘ、又之ヲ益々鞏固ナラシ
メナケレバナラヌト考ヘルノデアリマシテ、
國民ハモウ忠君愛國ノ間違ヒナイト云フ風
ナコトデ、餘リ高ヲ括ッテ總テノ事ヲ考ヘ
ラレルト云フコトガアツタナラバ、私ハ是ハ

決シテサウ安心ヲスベキモノデハナカラ
ウ、其ノ點ニ付テモ十分考ヲ及シ、又國民
ガ本當ニ日本ノ上ニ足ヲ踏ミ締メテ世界ニ
向ッテ發展スルト云フ機會ヲ持ツヤウニ御
指導ヲ戴カナケレバナラヌト思フノデアリ
マス、私ノ質問ハ大體其ノ三點ニアルノデ
アリマシテ、總理大臣カラ此ノ點ニ付テノ
御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○國務大臣(公館近衛文麿君) 第一ノ御尋
ノ此ノ法案成立ノ曉ニ於キマシテ之ヲ運用
スル上ニ於テ一面ニ日本獨得ノ日本精神ト
申シマスルカ、國民精神ヲ振興シナケレバナ
ラヌト云フコトノ必要ニ付キマシテハ、只
今岡部子爵ガ御述ニナリマシタコトニ全ク
御同感デアリマス、次ニ中央機關ノ問題デ
アリマスガ、之ヲ擴充スルカドウカト云フ
コトニ付キマシテハ、今後ノ事態ノ變化、
實情ニ鑑ミマシテ考慮ヲ致シタイト思ヒマ
ス、國防省ト云フ御話モアリマシタガ、之
ニ付キマシテハ只今ノ所デハ考ヘテ居リマ
セヌ

○子爵岡部長景君 只今ノ御答辯ハ、私ノ
申シマシタ趣旨ヲ御了解下スツタコト思
ヒマスガ、又第一ノ質問ニ對シテハ大體滿
足ヲ致シタ譯デアリマス、併シ今ノ國防省
ノ問題ナドニ付キマシテモ、是ハドウカ今

御即答ハ無論ソレダケノ御研究モナイカモ知レマセヌガ、是非私ハ必要ダト思ヒマス、モウ其ノ邊ノ程度ニ大規模ニ此ノ問題ヲ取扱ッテ本氣ニ掛カルノデナカタナラバ、國民ハナカ／＼了解モシマセヌシ、又ソレダケノ決心ヲ本當ニ國民ニ持タセルコトハ困難デハナカラウカ、ナカ／＼日本ノ國情ガ實際外國カラ受ケテ居ル脅威ト云フモノヲ國民ハマダ了解シナイ點ガ多アルト思ヒマス、ソレハ地理的ノ關係、色々ノ事情カラシテドウシテモ國民ニ向ッテ本當ニ我々が今國ヲ擧ゲテ國防ト云フコトニ當ラナケレバナラスト云フ必要ヲ痛感サセルト云フコトガ必要デアリ、又ソレガ若シモ本當ニ徹底シテ居ラナカタ場合ニハ斯ウ云フヤウナ法案ガ本當ニ實施サレル時機ガ來タ時ニ又好マシカラザル事態ガ發生セザルコトヲ保證出來ナイト思ヒマス、ドウカ政府ニ於テハ十分ニ御研究ノ上デ國家總動員法案ノ實施及廣義國防ノ意義ヲ本當ニ徹底サセルヤウニ御考慮戴キタイト云フコトヲ希望致シマス

○伊澤多喜男君 大分モウ時間ガ過ギマシテ……私ハ總理大臣初メ三四ノ大臣ニ場合ニ依ッテ御伺ヒシタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、唯委員長ニ伺ヒマスケレド

モ、委員長ノ御心積リデハ質問ハ大體今日位デ済マセタイト云フヤウナ御積リデアリマセウカ、私ハ實ハ今ノ通り相當ニ澤山質問ヲ有ッテ居リマスケレドモ、斯ウ云フ會期切迫ノ場合デアリマスルシ、ソレカラシテ、實ヲ申スト云フト、委員諸君ガ最早十分ニ此ノ案ニ付テハ御了解ニナッテ居ッテ、サウシテ別ニ質問ニ對シテハ熱ハナイノダト云フ心持デアリマスレバ、私ノミノ爲ニ徒ニ長ク時間ヲ費スト云フコトハ相濟マヌヤウナ心持モスルノデゴザイマス、デ伺ヒタイノハ第二讀會ノ後デモ質問ハ御許シニナル御積リデゴザイマス、ドンナモノデゴザイマセウ、ト云フノハドウ云フコトカト云フト、モウ十二時半ニナッテ居ルノデシテ、ソレカラシテ、總理大臣ハ午前中チヨットト云フコトデ御出デニナッタノデゴザイマスカラ、ソレヲ尙一時間モ一時間半モ引張ルト云フコトハ、私ハ自分デモ甚ダ相濟マヌヤウナ氣ガスルノデスカラ、一應御相談申上ゲルノデス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 御答ヲ致シマス、伊澤君ハ今カラ長時間ニ互ッテ御質問ヲ爲サリタイト云フ御希望ダト云フコトデアリマスガ、先刻ハ官吏制度ニ付テ極メテ簡單ニ總理大臣ニ質問ヲシタイト云フ御通

告ガアリマシタ、私ハ其ノ伊澤サンノ御通告ヲ總理大臣ニ御傳達ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ質問ヲ止メサセヨウト云フ考ガアリマスカト云フ御質問デアリマスガ、私ハ質問ヲ止メサセヨウト云フヤウナコトヲ考ヘタコトハアリマセヌ、唯今朝委員會ノ開カレル前ニ、多クノ委員ノ方ノ御様子ヲ伺ッテ見マス、大體ノ質問ハ午前中デ終了スルデアラウト云フヤウナ方ガ澤山アリマシタ、其ノ時ニハ伊澤君ハ、唯自分ハ總理大臣ニ對シテ官吏制度ニ付テ極メテ簡單ニ質問シタイト云フコトデアリマシタカラ、委員長ハ左様ニ考ヘタノデアリマス、相當御質問ノ御希望ガ澤山アルノニ之ヲ止メサセヨウト云フヤウナコトヲ委員長ハ考ヘテハ居リマセヌ、ソレダケノコトヲ御答ヘ致シテ置キマス、此ノ際ハ今朝ノ御約束ニ從ッテ官吏制度ニ付テ總理大臣ニ御質問ヲ願ヒマス

○伊澤多喜男君 私ハ委員長ト私語ヲシタ……ト云ヒマスカナ……ト云フコトハアリマスケレドモ、委員長ニ左様ナコトヲ申シタコトハアリマセヌ、要スルニ官吏制度ニ付テ質問ヲシタイト云フコトハ申シマシタケレドモ、簡單ニトモ何トモ申シタノデヤアリマセヌ、左様ナコトヲ私ハ申シテ居リマセヌ、多分何カ御聴キ違ヒガラウト思

ヒマス、尙矢張り質問ヲ打切ルカドウカト云フヤウナ風ニ私ガ御聴シタヤウニ仰シヤッタヤウデスケレドモ、ソナナ風ニ私ハ申シタノデヤアリマセヌカラシテ、極ク打解ケテ今私ハ御話シタ積リデス、實ハ今ノ通り私ガ心持ヲ申上ゲタノデス、ドウ云フコトカト云ヘバ、要スルニ私ノ質問ハ澤山アリマス、アリマスルケレドモ、私ガ徒……皆サンガ兎ニ角此ノ案ニ付テハ大體分ッテ居ル、伊澤ガイツ迄モ愚圖々々言フガ、詰ラス質問ヲスルノダト云フヤウナ風デ熱ガナイノナラ、私ハ自分ハ差控ヘテ宜シイト云フコトヲ申シタノニ過ギナイノデアリマス、如何致シタモノデゴザイマセウカ

○子爵岡部長景君 チヨット今私ガ質問申上ゲマシタ中ニ、或ハ誤解ヲサレルト思ヒマシテ一言申上ゲマスガ、國防省設置ト云フコトノ意見ヲ申上ゲマシタガ、ソレハ從來ノ陸海軍省ヲ廢メテ國防省ニスルト云フ意味デハナイノデアリマス、陸海軍省ハ陸海軍省トシテ置イテ、其ノ外ニ所謂廣義國防ト云フヤウナコトヲ扱フ役所ヲ一ツ獨立シテ設ケル必要ガアリハシナイカト云フ意味デアリマスカラ、其處ハ誤解ノナイヤウニ御願ヒ致シマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 休憩ヲ致シ

マス

午後零時三十分休憩

午後三時十一分開會

○委員長(子爵渡邊千冬君) 午前ニ引續イ

テ開會致シマス

○山岡萬之助君 私ハ一、二點本案ノ内容

ニ付キマシテ、參考ノ爲ニ伺ッテ置キタイト

思ヒマス、先刻述べマシタヤウニ、此ノ軍

事ニ關シマスル軍需品ノ問題ニ付テハ、微

發令ト云フモノガ第一ニ出來タノデアリマ

スガ、此ノ微發令ニ依リマスルト云フト、

極メテ精密ニ規定ノアルコトハ先刻述べマ

シタ通りデアリマス、ソコデ此ノ軍需工業

動員法ニ依リマスレバ、其ノ第七條ニ於テ、

「戰時ニ際シ第一條ニ掲クル物件ニシテ微

發令中ニ規定ナキモノヲ使用又ハ收用セム

トスルトキハ微發令ノ規定ヲ準用ス」斯ウ

云フ規定ヲ置キマシテ、軍需工業動員法ハ

微發令ヨリモ廣イ軍需品ノ微發令ノ規定ガア

リマス、ソレデスカラ微發令ノ足リナイ部分

ニ付テハ準用シテ手續ヲスル、斯ウ云フ風

ニ丁寧ニ書イデアリマス、本案ノ目的物ハ

軍需工業動員法ノ、ソレヨリモ廣イコトハ、

政府モ段々御説明ノ通りデ民需品迄入ッテ

居ルノデアリマス、ソコデ是ト微發令トノ關

リ軍需工業動員法ハ、サウ云フ風ニ目的物

ノ廣イ所ハ微發令ヲ準用スルノデスガ、今

度ノハソレヨリモ廣イ、サウスルト微發令

トノ關係ハドウ云フ風ニ運用サレル御考デ

アリマスカ、先ヅ其ノ一點ヲ御伺ヒ致シマ

ス

○政府委員(青木一男君) 御説ノ如ク軍需

工業動員法ニ於キマシテハ、微發令ニ規定

ナキ軍需品ニ付テ、微發令ノ規定ヲ準用ス

ルト云フ建前ニ致シテ居ルノデアリマス、

今回ノ總動員法ニ於キマシテハ、サウ云フ

規定ヲセズニ別ナ系統トシテ、規定ガ新ラ

タニ出來テ居ルノデアリマスガ、御承知ノ

通りニ微發令ハ主トシテ陸海軍軍隊自ラ、

其ノ軍事行動ニ直接必要ナ軍需ヲ調達スル

ト云フコトヲ本旨ト致シテ居ルノデアリマ

スガ、本法ハ既ニ中上ガマシタ如ク、陸海

軍ニ對シテ軍需ヲ充足スル外、尙兼ネテ民

需ノ確保モ圖ラムトスルモノデアリマシテ、

法律ノ目的範圍ガ自ラ決ッテ居ル事情ガア

ルノデアリマス、併シナガラ品物ニ依リマ

シテハ微發令ノ規定ニモ該當シ、又國家總

動員法ノ規定ニモ該當スルト云フモノガ勿

論出テ參リマス、ソレデ何レヲ適用スルカ

ト云フコトニ付キマシテハ、ソレム、其ノ

モ運用宜シキヲ制スルコトヲ眼目トシテ、

何方ニ依ルカト云フコトヲ決メテ行クノデ

アリマスカ、大體ニ於テ國家總動員法ニ於

キマシテモ軍事優先ト云フ主義ハ飽迄モ矢

張り認メザルヲ得ナイト考ヘテ居ル次第デ

アリマシテ、其ノ精神ノ下ニ適當ナ運用ヲ

スルト云フコトニナラウカト考ヘテ居リマ

ス

○山岡萬之助君 其ノ御説明デ直チニ明カ

ニナツタヤウデモアリマセスガ、要スルニソ

レバカリデナク、土地收用法ニ於テ收用規

定ガアリマス、ソレガ本案ニ於キマスル所

デモ矢張り土地ノ收用ト云フコトモ出テ參

リマス、其ノ邊ノ所ハサウ云フ風ナ程度デ、

色々ナ前法後法其ノ他ノ關係ニ於テ然ルベ

ク運用ノ方針ヲ御立テニナルト云フコトガ

必要デアラウト思ヒマスカラ、サウ云フ程

度ニ致シマシテ、今一ツ二ツ御尋ネ致シタ

イ、此ノ軍需工業動員法第十七條ニ「工業

的發明ニ係ル物又ハ方法ニ關シ……」トア

リマス、是ハ特ニ此ノ軍需工業動員法ヲ作

リマス時ニハ重キヲ置イテ規定シタノデア

リマス、然ルニ本案ニ於テハ此ノ發明ノコ

トニ關シマシテ特ニ之ヲ保護スルト云フ規

定ニ少シモ觸レテ居リマセヌガ、勅令カ何

デアルカドウカ、此ノ工業的發明ト云フノ

ミデナク、凡ソ知識ヲ基礎ニシタ科學的ノ

廣イ意味ノ發明ト云フコトハ、今日ノ時代

ニ於テハ精神的、物質的文化兩面ニ於テ非

常ナ必要ナコトデアリマス、世界ノ各國ニ

於テサウ云フ發明ノ進歩シテ居ル國ハ即チ

強イ國デアリマス、デスカラ、是ハ特ニ保

護スルト云フコトガ必要デアルト私ハ考ヘ

マス、然ルニ本案ニ於テハ其ノ邊ノ所ニ用

意ガナイヤウデアリマスガ、斯ウ云フ點ハ

モウ少シ明カニシテ置ク必要ガアッタノデ

ハナイカト思ヒマス、立案ノ際ニ何カ御研

究ガアリマシタカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(青木一男君) 軍需工業動員法

第十七條ニハ御説ノ如ク工業的發明ニ係ル

物又ハ方法ニ關シテノ特別ナ保護ノ規定ガ

ゴザイマス、國家總動員法ノ運用ニ付テモ

大體其ノ精神ハ勿論尊重シナケレバナラス

ト思フノデアリマスガ、軍需工業動員法ノ

規定ハ平時ニモ適用アル條項デアリマシテ、

今回總動員法ニ於キマシテハ、御承知ノ通

リ大部分戰時ニ發動スルコトヲ主トシテ居

リマスル關係上、戰時ニ國家ノ絕對必要ナ

場合ニハ、或ハサウ云フ保護ノ規定モ暫ク

我慢シテ貫ハナクチヤナラスト云フ事態ガ

アリ得ルノデアリマシテ、絶對的ニ排除ス

ル譯ニハ參ラスカト思ッテ居リマスガ、併シ
斯ウ云フ工業の發明ノ保護ニ付テハ御説ノ
如ク最モ尊重シナクチャナラヌト思ヒマス
ノデ、運用上ハ御趣旨ノ通りニナリ得ル、
斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第アリマス

○山岡萬之助君 御説明ヲ得マシタノデア

リマスガ、此ノ點ハ今ノ御説明デハ軍需工
業動員法ハ平時ニモ適用サレル、本案ハ戰
時デアルト云フ御話デ、戰時ニハ少シハ忍
バナケレバナラヌト云フ御話デアリマシタ
ケレドモ、此ノ工業の發明ト云フモノハ如
何ナル場合ニ於テモ之ヲ尊重シテ、此ノ發
明心ト云フモノヲ毀損シナイヤウニシテ行
クト同時ニ、此ノ發明ニ關シマスルモノヲ働
カシテ居ル仕事ニ對シマシテ、政府ハ十分
ナル注意ヲ爲サル必要ガアルト思ヒマスル
カラ、從ッテ此ノ準備規定其ノ他ニ於テ適當
ナル考方ガ出來ルト思ヒマス、宜シク其ノ
點ハ御考慮ノ程ヲ望ミマス、次ニ今一點伺
ヒタイコトハ賠償ノ規定デアリマス、此ノ
事ニ付テハ既ニ山隈委員カラ御尋ガアリマ
シテ、政府ハ答辯致シテ居ルノデアリマス、私
ハ此ノ點ニ付テ更ニ申上ゲマスルコトハ、此
ノ私有財産制度ト云フ本案ノ骨子トモナッテ
居ル財産關係デアリマス、是ガ憲法、民法ニ
依ッテ廣ク保護セラレテ居リマス、デ私有財

産制度ヲ保持スルト云フコトニ付キマシテ
ハ、結局私有財産ナルモノハ金錢ニ見積リ
得ルト云フコトガ基礎デアリマス、デ金錢
ニ見積リ得ルト云フモノデアリマスレバ、
是ハ他ノモノニ變リマシテモ大體ニ於テ差
支ナイモノデアアル、斯ウ云フコトガ私有財
産制度ノ本體デアリマス、ソレデアリマス
ルカラ、治安維持法ニ於テ私有財産制度ヲ
否認スルコトハナラヌト云フ議論ノ際ニ於
テモ詳細盡シテ居ル、國家ガ公益ノ爲ニ國
有ニスルト云フコトハ差支ナイガ、國家ガ
沒收スルト云フコトハ絕對ニ相成ラス、即
チ國家ガ國有ニスル場合ニ於テハ之ニ適當
スルダケノ賠償ヲ拂ハナクチャナラヌ、故
ニサウ云フ趣旨ニ反シテ私有財産ヲ國家ノ
モノニスルト云フヤウナ議論ラスルコトハ
即チ法律ノ許ス所デナイ、斯様ナ趣旨ガ明
カニナッテ居リマス、ソレハ即チ右申シマシ
タヤウニ、財産ハ金錢ニ見積リ得ルト云フ
コトガ土臺デ、其ノモノガ何處ヘ變リマシ
テモ體様ニ於テ差支ナイモノデアアル、ソコ
デ此ノ頃各方面ニ經濟界ノ動キガアリマシ
テ、色々ト事業ノ上ニ變革ヲ生ジテ居リマ
ス、電氣事業ノ如キモ即チソレダト思フノ
デ、之ニ付テハ何處迄モ對價ト云フモノニ
注意ヲシテ行クト云フコトガ大事ノ點デア

リマス、其ノ點ニ十分ナ注意ガ行キマスナ
ラバ茲ニ彼此論ズベキモノハナイト申シテ
私ハ宜イト思ッテ居ルノデアリマス、是ハマ
ア一般ノ論デアリマス、ソコデ此ノ軍需關
係ト其ノ他ノ公益事業トノ在來ノ關係ヲ見
マスルト云フト、軍需ノ關係ニ於テハ裁判
所ト云フモノノ判斷ヲズツト皆離シテアリ
マス、徵發令カラ其ノ後ノ立法ハ皆サウナッ
テ居リマス、ソレデアリマスカラ政府ガ本
案ヲ立案シテ左様ニ致シマシテモソレハ我
ガ國ノ立法ノヤリ方、我ガ國ノ沿革的ニ申
セバ適當ナモノデアアル、即チ土地收用法ノ
如キハ其ノ價格ニ付テハ裁判所ノ最後ノ判
斷ヲ求メルト云フコトニナッテ居ル、即チ裁
判所ノ最後ノ判斷ヲ求メタ事例ト云フモノ
ハ至ッテ少イモノデアアルト思フ、サウ云フ規
定ハ詰リ私有財産ヲ保護スルト云フ獨斷ナ
ル考カラ出テ來テ居ルモノデアアルト思ヒ
マス、ソレデアリマスカラシテ、本案ノ此
ノ規定ヲ以テ根本の原則トシテハ少シモ差
支ナイ、沿革ニ從ッテ居ルモノト思ヒマス
ガ、唯如何ニモ斯ウ云フ風ニ廣ク軍需品ニ
止マラス民需品迄行クト云フ場合ニ於テ
ハ、モウ少シ規定ノ立方ヲ密ニシテ……、
密ト申スト或ハ語弊ガアルカモ知レマセヌ
ガ、モ少シ筋ヲ立ッテ、成ル程是ナラバ適

當ダト云フモノヲ御考ニナッタ方ガ宜クハ
ナカッタカト私ハ思フノデアリマス、其ノ點
ニ付テ審議ノ際ニドウ云フ風ナ議論ヲ以テ
是ダケノ決議ヲ爲サレテ居リマスカ、伺ヒ
マス

○政府委員(青木一男君) 軍需ノ爲ノ財産

ノ使用收用等ニ付テハ從來ノヤウニ審議會
ノ議決ト云フヤウナコトノ程度デアアルガ、
民需ノ分迄モ同ジ方針ヲ執ッタノハマヅイ
デハナイカト云フヤウナ御趣意ノヤウニ拜
聽致シタノデアリマスガ、此ノ國家總動員
法ハ他ノ委員カラモ御述ニナリマシタ如
ク廣イ意味ノ國防法デアリマシテ目的ハ國
家全體トシテノ國防力ヲ發揮スルコトヲ主
眼ト致シテ居リマス、サウシテ例ヘバ或モ
ノヲ使用收用スル、或ハ工場等ヲ管理ス
ル、或ハ使用收用スルト云フコトヲ考ヘマ
シテモ、其ノ品物ノ用途ト云フモノハ或ハ
軍需ニ行キ、或ハ民需ニ行キ、工場ニ對シ
マシテモ必ズシモ截然ト區別シテ運用スル
ノデハナイノデアリマシテ、今御説ノ如
ク目的ニ依ッテ手續ヲ全然違ヘルト
云フコトハ、是ハ技術的ニ殆ド不可能デハ
ナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、勿論本
法ニ依ル財産權ノ使用收用ト云フコトハ、
其ノモノヲ國家ガ入用デアアルカラサウ云フ

手段ヲ執ルノデアリマシテ、決シテ其ノ財產價值ヲ一部國家ガ只デ貫ヒタイト云フ思想ハ全然ナイト思フノデアリマス、從ッテ其ノ對象トシテハ御説ノ如ク十分ナ金錢價值ヲ拂フベキモノデアル、若シソレヲ非常ニ安イ値段デ徵發致シマスレバ、ソレダケ沒收ト云フヤウナ思想ガ入ルノデアリマシテ、ソレハ本法ノ所期スル所デハナイノデアリマスカラ、サウ云フコトデナク、國家ガ要

ルモノ自身ヲ國民カラ貰ッテ、國家ハ之ニ向ッテ金錢ノ代價ヲ拂フ、斯ウ云フ思想ニ外ナラヌノデアリマスカラ、運用ニ於テハ裁判所出訴ノ途ヲ開カズトモ結果ニ於テハ御心配ノナイヤウニ運用スベキモノデアリ、又サウ出來ルト考ヘテ居リマス

○山岡萬之助君 御説明デ大體分リマシタガ、右述ベマシタヤウナ意味合ヲ有ッテ居ルモノデアリマスルカラ、總動員補償委員會ノ規定其ノ他ノ成案ヲ委任勅令ニ依リマシヤウナ場合ニ於テハ宜シク其ノ趣旨ノアル所ヲ御含ミヲ願ヒタイト同時ニ、臣民徵用ニ付キマシテモ特ニ給與ヲ爲スト云フ規定ハ是ハ別ニナイノデアリマス、御説明ニ依リマスレバ當然給與ヲスル、斯ウ云フノデアリマス、コ、ラ邊リハ臣民ノ徵用ハ徵兵義務ト全ク違ッテ居ルノデアリマシテ、徵

兵ノ義務ハ是ハモウ憲法デ初メカラ儼トシテ決メラレテ居ルノデアリマス、是ハ國家ノ目的ノ爲ニ使フノデアリマスカラ、當然適當ナル給與ヲ爲シテ、之ニ對スル賠償ノ意味ヲ盡スコトガ當リ前デアリマス、別ニ論議スル必要モアリマセヌ、ソシヤウナ次第デアリマスカラ、ソレ等ハ御含ミヲ願ヒタイト考ヘマス、是ダケデ私ノ質問ヲ終リマス

○塚本清治君 相變ラズ委任命令ノコトデアリマシテ、時間切迫致シテ居リマスル折柄ニモ拘ラズ、少シ執ッコク伺フヤウデアリマススケレドモ、實ハ委員會ノ始ッテカラ今日迄委任命令ノ規定ノ出來タ理由トシテ、司法大臣其ノ他政府委員ノ御説明ニ依リマスト云フト、結局戰爭ノ千變萬化ノ事態ニ即應シテ定メナケレバナライカラ、而シテ又敵國ノ執レカニ依ッテ異ルコトモアルカラ、且又相手國ニ知ラレテ居ッテハ國防上不利益デアルカラト云フ、三ツノ理由アルガ故ニ、平素カラ法律ヲ以テ規定シテ置クコトハ出來ナイ、斯ウ云フ御趣意ハ度々伺ッテ、其ノ御説明其ノモノハモウ能ク承知致シマシタ、併シ最後ノ判斷ヲ下シマスルニ、家ヘ歸リマシテ篤ト御説明ヲ繰返シテ考ヘテ見マシテモ、マダ腑ニ落ちナイ所ガアルノデ

アリマス、デ此ノ國家總動員法案ハ、能クマア仰シヤル毎ニ、大綱ヲ定メテ細目ハ勅令ニ讓ルノダト、此ノ言葉ガデスネ、大綱ヲ定メテ細目ヲ勅令ニ讓ルト云ヘバ、其ノ言葉ニハ御異論ヲ申上グルコトモナシ、マア此ノ言葉自身ノ御説明ヲ伺フ必要モ感ジナイノデアリマス、或ハ又家ヲ建テルニシテモ、四ツノ柱ハ立ッテ居ルノダカ、大キナ柱ハ立ッテ居ルノダカ、細カイ柱ト云ッテモ、隨分澤山ノ柱ハマダ決定シナイノダト云フ風ニ比喻ヲ以テ考ヘラレル方モオアリニナツヤウデアリマシテ、ソレハマア比喻トシテ妙ヲ得テ居ルトモ思ヒマス、併シ私ハ四本柱ガ立ッテ居ルカ否カラ實ハ疑フノデアリマスガ、併シ比喻其ノモノヲ論ジテ行ク必要ハナイ、私ハ若シ比喻ヲ云フナラバ、マア著書ニ例ヘマスレバ、目次ダケガ此處ニ載ッテ居ルノデ、目次ノ我々ハ贊否ヲ聽カレテ居ルノデアル、而シテ其ノ内容ハ勅令ニ讓ラレルノデアル、紙數デ云フナラバ、目次ハ二、三頁、目次其ノモノハ二、三頁ニシテモ大事ナモノニ相違アリマセヌガ、内容ハ是カラ五百頁ニナルカ、千頁ニナルカ、ソレハ分ラナイト云フヤウナモノト、私ハ比喻ヲ採ッテ言ヘバ、サウ云フ風ニ感ズル、ソコデ元ヘ戻リマシテ所謂千變萬化

ノ事態ニ即應スル必要アルガ故ニ、其ノ點ニ付テ今日迄ノ如ク抽象的ニデナク、具體的ニ伺ヒタイ、ソレハ申ス迄モナク、勅令ハ法律語デ云フト、法規命令、處分命令デヤナイ、規則ナシデス、故ニ之ニ依ッテ臣民ノ權利義務ハ定ル、詰リ所謂個々ノ標準トナル、千變萬化ト申シマスルコト云フト、ドウ云フコトナンデアリマスカ、文字ハ分リマススケレドモ、漢語ノ意味ハ分リマススケレドモ、之ヲ具體的ニ實際ノ勅令ニ付テ云ヒマスト云フト、勅令ヲマサカ朝ニ定メテ、タニ改メルト云フ必要モアルカラ、勅令ニ讓ッテ置クノダ、サウハ仰シヤラレマスマイ、サウナレバソレハ餘リ極端ダト思ヒマス、少シ氣ヲ長クシテ一箇月トシマス、前月勅令ヲ作ッタクケレドモ、亦今月之ヲ改メナケレバナラスト云フコトモアルカラ法律デイカヌ、或ハ長クテ半年位ハ宜イケレドモ、亦半年スレベ事情ノ變化モアルカラ、又是ハ改メナケレバナラスト、ソレ故ニ矢張り法律デヤイカヌ、勅令デヤラナケレバナラスト、斯ウ云フナノデアアルノデアリマセウカト、千變萬化ノ事態ニ即應スルト云フコトデアリマスカラ、サウ云フコトデモアルノカト想像致シテ、千變萬化ノ意義ヲ了解シタイト努メタノデスケレドモ、更ニ又

考ヘテ見マスト云フト、一箇月二箇月、或ハ半年、サウ云フ間ノ規定ヲ勅令ニ定メテ、臣民ノ權利義務ヲ定メ、實ハ私ハ昨日申シマシタデスガ、此ノ委任勅令ニ依ッテ實ハ權利義務ガ創設セラレ、創造セラレル、「クリエート」セラレル必要ハ、前ニ申シマシタヤウニ目次ヲ示シタニ過ギナイ、其ノ勅令デ權利義務ヲ定メタ、私ノ言葉デ云フト創造スル、「クリエート」スル、其ノ勅令ガ半年ヤ、長クテ七、八箇月、サウ云フヤウナ短期間ノ法規デ以テ日本臣民ノ權利義務ヲ定メ、個々ノ標準ヲ立テルト云フヤウナコトガ出來ルデセウカ、アリ得ルデセウカ、左様ニシテ計畫ト云フモノガ、一體動員計畫ト云フモノガ立ツノデセウカ、此ノ動員計畫ハ固ヨリ戰時ニ際シ、若シクハ戰爭ニ準ズベキ事變ニ適用セラル、ト云フノデアリマスケレドモ、政府當局御説明ノ如ク、前以テ計畫ヲ立テ置カナケレバナラズ、其ノ計畫ノ運用ヲ迅速ナラシムベク用意ガ平素カラナクチャナラヌ、サウシテ見ルト云フト、サウ其ノ唐突ニ事變ニ當ッテ、扱デ甲ノ國ト戰ガ始ル、甲ノ國ト戰ガ始ルニ付テ必要ナル動員計畫、其ノ爲ノ勅令ヲ定メルト云フコトデハ、甲國ト戰ヲショウトシテモ間ニ合ハナイノデヤナイカ、戰其ノモ

ノハ千變萬化ノ色々戰術戰略ガアラウカト素人ナガラ想像致シマスルケレドモ、動員計畫ハソシナニ頻々ト千變萬化スルモノデアッテハナラナイ、寧ロアッデハナラナイト私ハ考ヘル、甲ノ國ト戰ガ始ッテ、勅令ハ甲ノ國トノ戰ノ動員計畫ノ委任命令ヲ出シテ、乙ノ國トデアルト、是ハ勅令ガ變ルカラ、ソレハ出サスト云フヤウナ、サウ云フ其ノ法規命令ト云フモノヲ、差違ッタ時ニ發布施行ニナッテ、果シテ動員計畫ニ齟齬ヲ來スコトナキヤ、千變萬化、甚ダ私ハ言葉ハ解シ得マスルケレドモ、此ノ法律ノ委任命令ノ理由トシテハ、ドウシテモ納得ガ出來ナイノデアリマス、私ハ寧ロ國家總動員法竝ニ其ノ内容ノ大部分ヲ成ス所ノ勅令、其ノ勅令ニ依ル法規ト云フモノハ平素カラ立ッテ居テ、サウシテ其ノ運用ガ千變萬化ノ事態ニ即應シテ色々變ルノデアラウ、斯ウ思ヒマスルケレドモ、勅令ガ千變萬化ノ事態ニ應ズルヤウニ定メラレナケレバナラナイカラ、委任ヲスルノ外ナイト云フ説明デアッテハ、何トシテモ理解出來ナイ、デ昨日來政府委員カラノ御説明ニ依リマスト云フト、例ヘバ具體的ノ例ヲ以テ申上ゲマスト云フト、臣民ノ徵用ニ關シテ、政府カラ示サレタ外國ノ立法例ノ如キ人の給付ニ於テ精神

的若シクハ肉體的ノ無能力者ハ徵用シナイ、國會ノ議員ハ徵用シナイ、女ハ妊娠中、或ハ産後、或ハ子供ヲ育成スル間ハ徵用シナイ、其ノ他色々條件ガ決ッテ居リマス、併シ是モ其ノ當時ノ政府委員ノ御説明ニ依ルト、ソレハ矢張り變化スルノダ、十七歳以下ハ免除スルトカ、六十歳以上ハ免除スルトカ言ッテ居ッテモ、其ノ時ニ及ンデ、ソレハ十七歳ヨリモット免除ヲ低クシナケレバナラヌ、六十歳以上ノ免除デハイカヌ、七十歳以上ノ免除ニシナケレバナラヌト云フヤウナ變化ガアルカラ、豫メ十七歳以下ハイカヌ、六十歳以上ハ免除スルト云フヤウナコトハ出來ナイノダト云フ御説明デアッタ、茲ニ至ッテハ私ハ、本當ニサウ云フ風ニ御信ジニナッテ居ルノカ、唯千變萬化スルト云フ説明ヲシテ、兎ニ角六十歳ト云フコトニ決メラレナイ、ソコデ六十一ニナルカモ知レヌ、七十ニナルカモ分ラナイ、全く其ノ時ニ依ルノダト云フヤウナ御説明ヲ強ヒテ爲サルヤウニ承ル方ニハ感ズルノデス、デ斯ウ云フコトガ日本國民一般ノ常識ニ受容レラレルデアリマセウカ、從ッテ如何ニモ私ハ強辯ノヤウニドウシテモ感ズル、何故ニソレナラバ、モウ一ツ例ヲ言ヘバ、精神的、肉體的ニ無能力デモ場合ニ依ッテハ召集

スルコトニナルカモ知レヌカラ、ソコニ豫メ徵集免除ヲ書イテ置ケナイノダト云フコトニ言ハレルノカモ知レナイ、若シサウ云フコトデアッテ國防上、千變萬化ノ戰爭狀態ニ即應シテ、色々動員計畫ニ頻々タル變化ヲ加ヘナケレバナラヌト致シマシテ、臣民ノ徵用ニ付テモ、前以テ規定ヲ立デテ置クト云フコトガ出來ナイト仰シヤルナラバ、ソレナラ此ノ兵役法モ、平素カラチヤント設ケテ置クト云フコトハ出來ナイノデヤナイカ、兵役法モ國家總動員法ノ中ニ入レテシマッテ、二十ニナッタナラバ現役ニ取ル、二年間徵兵ニ行ッテ後ハ豫備ニナルトカ、後備ニナルトカ、四十歳ニナッタナラバ國民兵役ニナルト云フコトモ、是ハ千變萬化ノ事態ニ即應スルコトガ出來ヌカラト云フノデ是亦廢メナケレバナラヌ、是モ國家總動員法ノ中ニ入レテシマハナケレバナラヌ、デ敵國ニ知ラレテハナラヌト云フ其ノ御言葉モ亦御尤デス、其ノ御言葉ニ逆ラウコトハシマセヌ、併シナガラ只今申上ゲマシタ例ノ如キニシマシテモ、何カソレガ敵國ニ豫メ知ラレテ國防上不利益ガアルノカ、連モ私共ノ常識ニハ分ラヌ、尙御示シニナッタ施行要綱ナドヲ拾ッテ見マシテモ、例ヘバ工場ナドニ於テ、一定規模ノ工場ニ於テハ勞務調停ノ

機關ヲ設ケシムルコトガ、此ノ七條ノ關係

ニ於テ示サレテ居リマス、或ハ「勞働爭議調停ニ關シ簡易且有效ナル特別ノ制度ヲ設クル」ト云フコトモ、施行要綱ノ中ニ書イテアル、斯ウ云フコトヲ豫メ書イテ置イテ、何ガ故ニ敵國ニ知ラレテ國防上不利益ヲ來スノカ、況ンヤ千變萬化ノ事態ニ即應セシムベク、此ノ勞資協調ノ機關ヲ何トカシナケレバナライノカ、勞資協調ノ機關ノ如キ申上ゲル迄モナク、「ドイツ」邊リハズツ以前カラヤツテ居ル、社會政策的ニ所謂勞資協調デ、資本主ト勞働者トノ間ノ調停機關ト云フモノハ隨分能ク行ハレテ居ツタ、今、最近ノ事情ハ私存ジマセヌ、日本デモ隨分隨意ニヤツテ相當成績ヲ收メテ居リマス、是ハ今後モ大イニ獎勵シナケレバナライデアリマセウ、併シ何ガ故ニ、ソレハ國家總動員法ノ勅令ニ依ッテ定メナケレバ所謂千變萬化ノ事態ニ即應スルコトガ出來ナイノカ、ドウシテモ是ハ……政府當局ヲ詰問スルノデモ何デモナイガ、私ハ本當ニソレハ分ラナイ、私ノ知識ノ程度デハドウシテモ分ラナイ、ソレデドウゾ希ハクハ私共ニ分リマサルヤウニ、具體的ニ御答ヲ願ヒタイ、私眞面目ニ能ク聽カウトシテモマダ今日ノ所デハ理解ガ出來ナイ、右ノ御答辯ヲ願ヒタイト

思ヒマス

○政府委員(瀧正雄君) 誠ニ御尤ナル御質問デアリマシテ、私答辯ガ甚ダ下手デゴザイマスカラ、御納得ノ行クヤウナ御説明ト申シマスカ、御答ハ出來得ナイダラウト考ヘマス、併シナガラ、ドウシテモ是ハ御諒解ヲ得タイト信ジマスノデ、心ニ思ッテ居ルコトヲ有リノ儘ニ申上ゲテ、出來ルダケ御諒解ヲ得ルコトニ努メテ見タイ、斯ウ云フ考カラ申上ゲテ見タイト思ヒマス、只今ノ御話ハ、憲法第二章ニ規定スル所ノ臣民ノ權利ニ關スル事柄ハ成ルベク法律ニ明記スルノガ宜シイ、サウシテ委任命令ト云フヤウナコトニシナイヤウニ、殊ニ廣汎ナル委任命令ナドハ避ケルヤウニシテ、成ルベク法律ニ明記シテ置イテ若シ他日必要ガアツタナラバ、或ハ臨時議會ヲ開イテ、個々ノ法律ヲ制定スルナリ、又其ノ餘裕ガナカッタナラバ緊急勅令ノ手段ニ讓ルナリ、更ニ或ハ三十一條ノ非常大權命令ノ筋モアルコトデアルカラ少シモ差支ナイ、ソレニ憲法上疑義ガアルト申シマスカ、國民ニ不安ヲ懷カシムルヤウナ廣汎ナル委任命令ヲスルト云フコトハ甚ダ宜シクナイデハナイカ、斯ウ云フ御話ダト思ヒマス、是ハ法律論ト致シマシテ、或ハ憲法ノ精神論ト致シマシテ

ハ、御説ノ通りデゴザイマス、ソレヲ法律上ノ理由カラ委任命令ハ憲法違反デナイカラ構ヒマセヌト云フノハ、御答ニナラヌト信ジテ居リマスガ、ソレニモ拘ラズ、何故ニ斯ウ云フ立法ヲ致シタカト申シマスルト、私ノ知ッテ居ル範圍デハ二ツノ點ニ於テ其ノ必要ヲ認メテ居ルヤウニ承知シテ居リマス、第一ハ國家總動員ノ計畫デゴザイマス、御説ノヤウナ考ヘ方カラ致シマスルト、憲法ノ精神ニ反シナイヤウニ、法律ノ作り方ハ斯クアルベシ、斯ウ云フ所ニ著眼シテオイデニナルヤウニ考ヘラレマスガ、又一方カラ考ヘマス、國家總動員ノ計畫ヲ最モ有效ニ遂行シテ行キタイ、戰時ニ當ッテドウシテモ勝タナケレバナラヌ戰ヲ、戰勝ノ目的ヲ達スル爲ニ、一番有效ニ國力ヲ總動員シテ行クノニハ、ドウシタラ宜イカト云フ方面カラ觀ルノト、多少其ノ觀ル所ガ違ッテ參リマスノデ、國家總動員計畫ヲ十分ニシテ行キタイト云フ觀方カラ參リマスト、多少議論モアリマスケレドモ、委任命令ノ形ニシテ置イテ載キマス、大變目的ヲ達成スルノニ都合ガ宜シウゴザイマス、ソレハ既ニ法律ニナッテ制定セラレ、委任命令ニナッテ何時デモ政府ガ計畫ヲ遂行シ得ルヤウニナッテ居リマスルト、平生ノ國家總動員

計畫ト云フモノガ非常ニ本氣ニナッテ、詳細ニ互ッテ計畫ヲ立テルコトガ出來ルノデアリマス、只今十三年度ナンカニ付テ、重要物資ノ需給計畫ヲ企畫院デ調べテ居リマスガ、ナカ／＼其ノ統計ヲ軍需ニ於テ幾何、民需ニ於テドレダケ、サウシテ物資ガ現在、存在量ガ是レ／＼シカナイ、ソレヲ増産計畫ヲシテドレダケ補給スルカ、或ハ輸入ノ計畫ヲ如何ニ立テルカ、更ニ足ラナイ場合ニハ國民ノ消費ノ方ヲドウ云フ程度ニ節約スルカ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ參リマス、不足勝ナル物資ヲ以テ、而モソレヲ自由ニ放任シテ置キマス、其ノ結果ハ、國民的ニ非常ナ不自由ノ結果ガ生ジテ參リマス、ドウシテモ國家方面倒ヲ見テ不足勝ナル物資ニ對シテ、何トカ國民生活ヲ確保ト申シマスルカ、護ッテ行カナケレバナライ、國民經濟モ廻ッテ行クヤウニ、モット統制シテ行クト言ヒマス、面倒ヲ見テ行カナケレバナラヌ、ト云フヤウナコトヲ考ヘテ參リマス、其ノ時々ニ非常ナ手ヲ打タナケレバナラヌコトニナッテ參リマス、斯ウ云フ複雑ナ關係ヲ豫想シテ掛リマスト、勿論今仰シヤツタヤウニ、計畫ト云フモノヲチャント立テテ置カナケレバナラヌ、勅令ノ内容マデモ略、決定シテ置カナケ

計畫ト云フモノガ非常ニ本氣ニナッテ、詳細ニ互ッテ計畫ヲ立テルコトガ出來ルノデアリマス、只今十三年度ナンカニ付テ、重要物資ノ需給計畫ヲ企畫院デ調べテ居リマスガ、ナカ／＼其ノ統計ヲ軍需ニ於テ幾何、民需ニ於テドレダケ、サウシテ物資ガ現在、存在量ガ是レ／＼シカナイ、ソレヲ増産計畫ヲシテドレダケ補給スルカ、或ハ輸入ノ計畫ヲ如何ニ立テルカ、更ニ足ラナイ場合ニハ國民ノ消費ノ方ヲドウ云フ程度ニ節約スルカ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ參リマス、不足勝ナル物資ヲ以テ、而モソレヲ自由ニ放任シテ置キマス、其ノ結果ハ、國民的ニ非常ナ不自由ノ結果ガ生ジテ參リマス、ドウシテモ國家方面倒ヲ見テ不足勝ナル物資ニ對シテ、何トカ國民生活ヲ確保ト申シマスルカ、護ッテ行カナケレバナライ、國民經濟モ廻ッテ行クヤウニ、モット統制シテ行クト言ヒマス、面倒ヲ見テ行カナケレバナラヌ、ト云フヤウナコトヲ考ヘテ參リマス、其ノ時々ニ非常ナ手ヲ打タナケレバナラヌコトニナッテ參リマス、斯ウ云フ複雑ナ關係ヲ豫想シテ掛リマスト、勿論今仰シヤツタヤウニ、計畫ト云フモノヲチャント立テテ置カナケレバナラヌ、勅令ノ内容マデモ略、決定シテ置カナケ

レバナラス、斯ウ云フ御説デアリマスガ、其ノ勅令ノ内容ガ決定シテ行ク準備ニ對シテモ、法ノ根據ガ一タビ研究シ、一タビ腹案ヲ作ツタナラバ、必ズソレヲ實行シ得ルノデアルト云フ自信ヲ持ツテ致シマスル場合ニハ、非常ニ綿密ナル調査、綿密ナル立案ガ出來ルノデアリマス、併シ之ヲ箇々ニ其ノ時ニ應ジテ議會ヲ召集シテ立法ラスル、或ハ必要ニ迫ツテ緊急勅令ノ手段ニ訴ヘルト云フヤウナコトニシテ、法ノ根據ヲ他日ニ讓ツテ置キマス、平時ニ於ケル國家總動員計畫ノ準備ト云フモノガドウシテモ十分ニ行届カスト云フ憾ミガアリマス、デアリマスルカヲ議論ハアリマス、法律論トシテハ御説ノヤウナ御考ノ起ルノモ無理カラヌコトト思ヒマスルガ、ドウシテモ戦争火急ノ場合ニ、非常ニ複雑ナル事態ガ發生スル場合ニ、臨機ノ措置ヲ講ジテ、サウシテ國ヲ護ルト云フ必要上、更ニ言換ヘテ見マシレバ、戰ニ負ケテシマッテハモウ根モ葉モナクナッテシマフノデアリマスカラ、ドウシテモ戰勝ノ目的ヲ達成スル、此ノ一念ニ心ヲ集中シテ参リマス、ドウシテモ委任命令ノヤウナ形ヲ御許シテ願フ、國家總動員計畫ノ萬全ヲ期シテ行キタイ、斯ウ云フコトニナリマスノデ、ツイ斯ウ云フ委任命令

ノ規定ヲ、先例ヲ逐ウテト申シマス、致シタ次第デゴザイマス、是ガ第一デアリマス、第二ハ箇々ノ規定ヲ其ノ時ノ必要ニ應ジテ致シマスルト云フ場合ニハ、茲ニ立テマシタ法案ノヤウニ、各條文ガ一貫シテ關係ヲ有ツテ居ルト云フ、其ノ所謂關聯ガ破レテ來ルノデゴザイマス、各條文ハ非常ニ密切ナル關係ヲ有ツテ居ルト私共ノ考ヘテ居リマスノハ、例ヘバ鐵ニ付テ申シマスルト、鐵ニ付テ必要ナル措置ヲ講ズル、斯ウ云フ方針ヲ立テマシタ場合ニ、先ヅ鐵ノ増産計畫ヲ立テマス、即チ生産命令ヲ致シマス、之ニ伴ヒマシテ設備ノ擴張ヲ圖ラナケレバナリマセヌ、サウシマスルト、設備ノ新設トカ、或ハ擴張ト云フコトニ關スル條項ガ直チニ必要ニナッテ参リマス、之ニ伴ッテ更ニ原料ノ規定ヲ必要ト致シテ参リマス、如何ニシテ原料ヲ取ルカ、或ハ鐵ガ足ラヌ場合ニハ「スクラップ」……屑鐵ノ回收ト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナラスカモ知レマセヌ、更ニ燃料ノコトニ付テノ規定モ必要トナッテ参リマス、或ハ電力ノ配給ナドノコトモ考ヘナケレバナラスカモ知レマセヌ、更ニ鐵ノ製造増産ト云フヤウナコトニ關シマシテハ、技術者ノコトモ増員ヲ圖ラナケレバナリマセヌ、熟練職工ノ供給ノコ

トモ考ヘナケレバナリマセヌ、各種ノ鐵材ニ付テノ價格ノ統制モ考ヘル必要ガアリマス、輸入ノコトモ考ヘテ然ルベク統制ヲシナケレバナリマセヌ、之ニ必要ナル資金ノコトモ統制ノ規定ヲ必要トシテ参リマス、鑛山ノ開發、ソレヲ考ヘマス、鑛夫ノ供給ノコトモ從ツテ考ヘナケレバナリマセヌ、或ハ杭木ノコトモ直チニ考ヘテ來ナケレバナリマセヌ、是等ノモノヲ運搬スル鐵道船舶等ノ運輸ノ統制ノコトモ考ヘルト云フヤウニ、幾多ノ條項ガ關聯ヲシテ参リマスノデ、今カラ想像シ得ルヤウナ條項ハ茲ニズツト竝ベテ置イテ、サウシテ一括シテ御協賛ヲ願フデ置カナイト、其ノ時ノ必要ニ應ジテ、一ツ／＼ノ法律ヲ作ルトカ、緊急勅令ニ依ツテ殘サレタル部分ダケヲ考ヘテ行クト云フヤリ方ヨリモ、國家總動員計畫ヲ遺憾ナク發揮スルト云フ建前カラシテ、豫メ想像ノ出來ルコトハ條文ヲ羅列ヲシテ置ク、サウシテ綜合的ノ大キナ單行法律トスル、單一法律トスルト云フ建前ニ陷ラザルヲ得ナイヤウナコトニナリマシテ、御説御尤デアリ、能ク御意思ハ分リマスケレドモ、ツイ斯ウ云フ廣汎ナル委任命令ノ規定ニ出デタ次第デゴザイマス

○塚本清治君 只今縷々御説明ヲ煩シマシタ次第デアリマスガ、承リマシテ仰シヤッタコトハ寧ロ千變萬化ト云フコトヨリハ理解ガシ易ク感ジマス、併シ丁度御説明ニナツタ其ノコトガ私ノ申述べムトスル勅令ト云フモノガ矢張り前以テ出來テ居ナケレバナライナイノデハナイカト云フコト同一ダト仰シヤッタ、即チ同意義ヲ述ベラレタモノト解スル、平常ニ於ケル用意、鐵ノ増産計畫、ソレニシマシテモ設備ノ條項、原料ノ規定、燃料、電力、技術者、熟練職工、資金ノ統制、鑛山ノ開發之ニ要スル職工等ノ全體トシテ纏ツタ動員計畫ヲチャント立テテ置カナケレバナラス、ソレガ爲ニ此ノ動員計畫法ヲ提出致シタノデアルト云フ御説明ハ同時ニソレ故ニ此ノ動員計畫法ニ定メテアル勅令、勅令ニ讓ツテアル立法事項ヲ矢張り同時ニ備ヘテ置カナケレバナラスノデハナイカ、仰シヤッタコトガ即チ私ノ意見ノ通りノ結論ニ導クコトニナリマスカラ、ソレナラ先キニ申シマシタヤウニ千變萬化ニ應ゼムトシテ、戰時ニ當ツテ勅令ヲ發布施行スルト云フコトニ依ツテ、今仰シヤッタ計畫ハ立タナイ、況ヤ先キニ具體的ニ例ヲ申シ上ゲマシタ臣民ノ徵用ニ付テ、人的給付ニ付テ何ガ故ニ其ノ無能力ヲ徵用シナイト云フ場合、或ハ其ノ用途、要件ト云フモノヲ前

以テ勅令デ定ムルコトガ出来ナイノデアリ
マスカ、今御述ニナツタ動員計畫其ノモノ
ニコソ矢張り年齢ノ制限ヲ置イテサウシテ
其ノ年齢ノ制限内ノ人の給付ヲ計畫ノ中ニ
入レテ置カナケレバナラス、徴兵ノ爲ニ兵
籍簿ガアルガ如ク臣民徴用ノ爲ニ又臣民徴
用ニ要スル原簿ト云フモノガ備ハラナケレ
バナラス、其ノ時ニ年齢ハ幾歳以下ハ免除
スル、幾歳以上ハ免除スルト云フコトニ依ッ
テ、其ノ範圍内ノ臣民ノ調査ヲシテオイデ
ニナラナケレバナライ、ソレガ六十歳ニ
ナルカ、七十歳ニナルカ分ラヌト云フコト
デ、ドウシテ臣民ノ徴用ニ關スル帳簿ナド
ガ平時ノ用意ガ出来マセウカ、ナカ／＼六
十歳、七十歳ト云フト、大シタ違ヒハナイヤ
ウデアリマスケレドモ、之ヲ全國的ニ見レバ
非常ナ人数、殊ニ幼年者ノ方デ、十七ト十
八或ハ十六、一年違ッテモ人口ノ上ニ非常
ナ數ガソコニ相違シテ來ル、其ノ帳面ノ用
意ト云フモノモナカ／＼是ハ容易デナイ、
サウ云フコトハ平素決メテ置ク方ガ動員計
畫ヲ立テラレル場合ニモ便利コソアレ、不
便ハ決シテアリマセヌ、敵國ニ知ラレテモ
ソコニ何ノ不都合ガアル、千變萬化、何ノソ
コニ差支ガアルカ、サウ云フ具體的ノ御説
明ヲ伺ッテ居ルノデアリマシテ、憲法ノ精

神論、委任ノ當否ト云フコトニ付テハ今日
ハ私ハ申シテ居リマセヌ、丁度仰シヤルコ
トヲ私ガ理解シ得ルノハ、即チ私ノ意見ヲ
裏書シテ下サツタ、斯ウ心得デ宜シイナラ
バ幸デ、私ハ御述ニナツタコトハ私ノ意見
ヲ結論ニ導カレルモノト思フ、重ネテ御説
明ヲ戴キマス

○政府委員(青木一男君) 戦時ニナリマス

ト色々ノ計畫ガ具體的ニ極ッテ居ナクチヤ
ナラス、ソレヲ豫メ法規トシテ制定シテ置
イタ方ガ總動員ノ準備ノ上カラ好都合デハ
ナイカト云フ御趣旨ノ御尋デアリマス、先
般モ申述ベマシタ如ク、總動員計畫其ノモ
ノハ政府内部ニ於キマシテモ著々其ノ當時
ノ情勢ニ應ジテ計畫ヲ立テテ居ルノデアリ
マス、併シナガラソレヲ法規命令トシテ國
民一般ニ知ラセル、ソレニ依ッテ義務ノ範
圍、大要等ヲ極メルト云フコトハ成ルベク
其ノ時ノ情勢ニ應ジタモノニシテ置キタイ、
先ヅ戦争突發ノ場合ノコトヲ考ヘテ見マシ
テモ、豫メ其ノ當時ノ戦争ノ規模等ガ分リ
マセヌ、又、相手國モ分リマセヌ結果、ド
ノ程度ノ具體案デ果シテソレニ適應スルカ
ドウカト云フコトガ實ハ分リ兼ねルノデ、
先ヅ法律トシテ極メテ置クコトノ不便ハ開
戰當初生ズルノデアリマス、次ニ戦争ニナ

リマシテカラモ、先程御述ニナリマシタ如
ク、戦争自體ガ刻々ニ變ッテ來マス、千變萬
化ト云フ言葉ハ其ノ戦争ノ状態ヲ示シタ形
容詞デアリマシテ、勅令其ノモノハソレ程
刻々變ッテ來ルコトハナイノデアリマスガ、併
シナガラ事態ノ根本ガ變リマスレバドウシテ
モソレニ應ジテ變ヘテ行ク必要ハ生ズルノ
デアリマス、ソレデ一口ニ私共ノ勅令ニシ
タ考方ヲ申述ベマスト云フト、國家總動員
ノ目的ヲ此ノ法律デ完全ニ果シタイト云フ
眼目カラ法律ハ出來得ルダケ網羅的ニ廣ク
作ッテ置キタイ、併シナガラ運用ハ出來ル
ダケ狭ク、其ノ時ノ必要ナ最小限度ニ之ヲ
止メテ行キタイ、此ノ二ツノ考方ガ結局
今回提案シタヤウナ法律ノ形ニナツタ一番
大キナ原因ト考ヘテ居リマス、兵役法トノ
比較ニ付テ御尋ガアッタノデアリマスガ、兵
役法ハ直接戰闘力ヲ構成スベキ人ノ義務ニ
關スル基本法デアリマシテ、目的ガ單一デ
アリマス、今回ノ總動員法ハ第三條ノ動員
業務ガ御指摘ノ如ク非常ニ廣汎ニナリマス
ノデ、ソレニ適シマス仕事或ハソレニ適ス
ル人ノ性別、年齢、職業、色々ノモノガア
リ得ルノデアリマス、兵役法ノ如ク單純ニ
ハイカナインデアリマス、ソレデ只今御指
摘ノ如ク不斷カラサウ云フ統計ヲ採ッテ置

ク必要ガアリマスノデ、一方ニ於キマシテ
ハ國民登録ノ制度ヲ著々實行シテ行クノデ
アリマスルガ、其ノ場合ニモ單ニ年齢ト云
フヤウナコトダケデハナカ／＼其ノ範圍
ヲ、或ハ徵用シ、徵用セザル範圍ヲ決メ兼ネ
ル事情ガアルノデアリマス、又ソレニシテ
モ一應ノ年齢ヲ矢張り決メテ置イタ方ガ國
民ガ安心スルト云フ只今ノ御意見モアッタ
ノデアリマスガ、是モ先程私ガ申上ゲマシ
タヤウニ或ハ四十歳迄デ済ムカ、或ハ五十
歳迄デ済ムカ、或ハ六十歳迄デ済ムカ、ソ
レデモ足りナイカト云フコトガ其ノ事態ニ
依ッテ色々有リ得ル、又サウ云フ場合ニ此ノ
總動員法自體ノ目的カラ言ヘバ、若シ其ノ
年齢ヲドウシテモ決メナクチヤイカスト云
フコトデアレバ豫想シ得ル最高年齢ヲ規定
スル外ハナイノデアリマスガ、斯クテハ矢
張り國民ニ安心ヲ與ヘルト云フ目的ニ副ハ
ナイ、斯ウ云フ老人迄モ徵用スルノデア
ルカト云フ却ッテソコニ不安ヲ與ヘル、ソレ
デアリマスカラ現實ノ場合ニ臨ミマシテ、四
十歳迄デ済ムモノナラバ四十歳ト云フコト
ヲ勅令デ指定シマシテ、後ノ人ニハ其ノ時
ニ於テハ關係ノナイ法令デアルト云フコト
ヲ示シタ方ガ、ヨリ宜シイト云フ考ヘ方デ
ゴザイマス、先程敵國ニ知ラレテ困ルコト

ハナイカト云フ御意見ガアツクノデアリマスガ、勿論御話ノ條項ニ付テ敵國ニ知ラレテ困ルト云フコトハ言ヒ得ナイノデアリマシテ、ソレハ問題ニ依ルカト思ヒマスガ、今申上ゲタヤウナ考ヘ方ハ各條ニ通ジテ同様ニアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○塚本清治君 甚ダ遺憾デアリマスケレドモ私ニハ了解ガ出來ナイ、ソレデ是レ以上質問致シマシテモ恐ラク同様デアラウト考ヘマスカラ打切りマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 外ニ御質問ハアリマセスカ

○大島健一君 極ク簡單ナコトデゴザイマスガ、二箇所バカリ伺ヒマス、此ノ第四條ニ臣民ノ徵用云々ト云フ其ノ下ニ「兵役法ノ適用ヲ妨グズ」ト斯ウアリマスノハ、是ハ逆ニ書カレタノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ軍需工業ニ従事スル者ハ無論ノコト、私ハ此ノ間申シマシタガ、此ノ戰役ニ於テモ鑛山ナドデ極ク其ノ道ニ明ルイ大事ナ職工ガ召集セラレテ、採炭ニ困ッテ居ルト云フヤウナコトガアリマス、是ハ非常ニ規定ヲ慎マナケレバナリマセヌ、是ニ依ッテ妄リニ、兵役ニ當ッテ居ル者ガ之ヲ以テ召集ニ應ゼヌト云フヤウナコトハ出來ヌノデアリマス、餘程嚴格ニセンケレバナリマセ

スガ、事業上是非必要ナ者ハ兵役ヲ猶豫シテ、本業ニ従事サセルト云フ規定ヲ、何カ一ツシテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、サウ云フコトヲ此ノ項ニ考ヘラレテ居ルノデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 第四條ノ徵用ト兵役トノ關係ニ付キマシテハ、只今御指摘ノ如ク法文ノ書キ方ヲ變ヘマシテ、「兵役法ノ適用ヲ妨グズ」ト書イタノデアリマスガ、其ノ意味ハ兵役法ガ優先スベキモノデア

ル、斯ウ云フ徵用ノ規定ヲ作りマシタケレドモ、其ノ徵用シタ人ヲ更ニ兵役ニ召集スルコトハ固ヨリ妨グナイノデアルト云フコトヲハッキリスル爲ニ斯ウ云フ風ニ書替ヘタノデアリマシテ、御趣旨ノ點ハ兵役第一ト云フ趣旨ヲモット明カニシヨウト云フ精神ニ外ナリマセヌ

○大島健一君 ソレデ逆ニ書イタカラ斯ウ云フコトニナル、委員長モウ一箇條……、是ハ陸軍大臣ガ居ラレルト宜イノデスガ、戰時陸軍海軍ノ使用スル所ノ、船舶乃至ハ鐵道ト云フヤウナモノハ、此ノ規定ガ出來テモ是迄通り矢張り陸軍大臣、遞信大臣、海軍大臣ノ間デヤツテ、此ノ法ニハ何等關係ガ無いノデゴザイマセウト私ハ思フテ居ル、

是ガ手續ニ付テ何カ考ヘラレタコトガアリマスカ伺ヒマス、陸軍ノ方デナケレバ分ラナイト思ヒマス、只今申スノハ陸海軍ノ動員トカ、或ハ海軍デ云フ出師準備ト云フコトニ關係スル、是ハ餘リ具體的ニ答ヘルコトハ宜シクナイコトデアリマセウガ、只今迄此ノ規定ニ付テヤカマシイ議論ガアルカラ、之ヲ私ハ聽イテ置クノデアリマスガ、斯ウ云フコトデ軍ノ機微ニ關スルコト、軍ノ動員、海軍ノ出師トカ、陸軍ノ動員トカ云フ如キハ、又別ノ動員ヲ考ヘネバナラス

位急ヲ要スルコトデアリ、大事ナコトデア

ル、陸海軍大臣、遞信大臣ノ間ニ於テ鐵道船舶ノ使用、是等ハチヨット集メル所ニ依ッテハ直グニ船舶等ノ所在モ分ル、非常ニ危險ノモノデアアルカラ、餘程注意シテ置カナケレバナリマセヌ、サウ云フコトガ矢張り動員ノ中ニモ含マレテ居ッテ、大所高所ヨリ餘程注意ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘ

ルノデ、一言私ハ御尋ヲ致シタノデ、御答ガナケレバ宜シウゴザイマス

○政府委員(山脇正隆君) 戰時ニ於キマシテ、軍ノ必要ナル船舶ノ總量ハ、總動員ト致シマシテ要求ハスルノデゴザイマスガ、其ノ徵用ニ付キマシテハ只今仰ノ通りデゴザイマス、何等變リハゴザイマセヌ

○山川端夫君 衆議院ノ方デ、政府ハ本案デハ内容ハ殆ド委任命令デ決定スルヤウニナツテ居ルケレドモ、將來差支ナイ限りハ立法手段デ以テ、此ノ法律ヲ補足シテ行クト云フヤウナ意味ヲ御答ニナツタサウデアリマスガ、是ハ事實デアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、之ニ付テ將來ノ政府ノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(青木一男君) 只今ノ立法手段ト云フ意味デノ法律ノ制定等ノ意味デアリマスレバ、サウ云フコトヲ申上ゲタコトハナイノデアリマス

○山川端夫君 私モマダ衆議院ノ速記ヲ拜見致シテ居リマセヌガ、何カ將來差支ナイ限りハ法律ヲ出シテ、此ノ内容ノコトナドニ付テ別ニ規定ヲシテ行ク積リデアルト云フヤウナ御話ガアツタヤウニ伺ッタノデアリマスガ、サウ云フコトハナイノデアリマスガ、ソレモ事實ヲ伺ヒタイ

○政府委員(青木一男君) 本法規定事項ニ付テ、ソレヲ補フト云フヤウナ意味デ法律ヲ制定スルト云フヤウナコトハ申上ゲタコトハアリマセヌ、唯本法ノ規定ガ若シ將來足リナイ、規定自體ガ不足ヲスルト云フヤウナコトガアレバ、首相ガ御述ニナリマシタ如ク、或ハ此ノ法律ノ改正ト云フヤウナ

コトハアリ得ルト思ヒマスガ、其ノ法律ノ規定自體ノ範圍不足スルカラ、他ノ法律ヲ制定スルト云フヤウナコトヲ申上ゲタコトハアリマセヌ

○子爵岡部長景君 極ク簡單ニ伺フノデスガ、此ノ段々ノ御説明ヲ伺フト、國家總動員ノ運營ノ上カラ言フト、色々ノ場合ニ二十條以前ニ「戰時ニ際シ」ト、特ニ局限シテアルノハ、總動員目的遂行ノ上ニ必ズシモ戰時ニ際シナクテモ、事實上ヤラレルヤウニシナケレバナラヌノデセウカ、政府ハ此ノ點ハ御遠慮ニナツタノデセウカ、或ハ其ノ必要ガナイト云フ御考デアリマセウカ

○政府委員(青木一男君) 大體ニ於テ戰時デナケレバ、必要ガ生ジナイ、假ニ若干ノ必要ガアツテモ、此ノ程度強イ國家權力ノ發動ハ、戰時デナケレバ適當デナイト云フ考ヘ方デアリマス

○伊澤多喜男君 今ノ山川君ノ御質問ニ關聯シテ居リマスカラ、伺ヒマスガ、衆議院ガ附帶決議ヲシテ、本法ノ如キ廣汎ナル委任立法ハ全ク異例ニ屬スル、政府ハ將來努メテ其ノ立法化ヲ圖レ、斯ウ云フ意味ノ決議ガアリマスケレドモ、之ニ對シテハ政府ハドウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、只今ノ山川君ノ質疑ト關聯シテ居リマスカラ、伺ヒ

マス

○政府委員(青木一男君) 政府ハ其ノ決議ノ意味ニ付テ詳細ニハ伺ハナカッタノデアリマスガ、是ハ異例ノモノデアルカラ、將來ノ例ニシナイト云フヤウニシヨウ、斯ウ云フ意味ニ書カレタモノト承知致シテ居リマス

○伊澤多喜男君 チョットサウハ思ハヌデスガ、私モ衆議院ノ人ニ聽キモ何モシマセヌカラ、分リマセヌケレドモ、附帶決議ニ、本法ノ如キ廣汎ナル委任立法ハ全ク異例ニ屬ス、政府ハ將來努メテ其ノ立法化ヲ圖レ、斯ウ書イデアリマス、其ノ立法化ト云フコトハ、詰リ此ノ委任立法ニナツテ居ルモノヲ兎ニ角普通ノ立法手續ニ依レ、斯ウ云フ風ニ私ハ解スルノデスガ、政府デ御聽キニナツテ居ラスト云フト、致シ方アリマセヌケレドモ、私ハ大體サウ云フ風ニ解スベキモノダ、サウシテ衆議院ノ兎ニ角全會一致ノ附帶決議デスカラ、御尊重ニナルモノダト私ハ思ッテ居リマスカラ……

○水野鍊太郎君 今ノ問題ハ伊澤君ノ言フ通りダト思フノデス、書キ方ニ依レバ……併シ衆議院ノ希望ハ我々能ク承知シテ居リマセヌガ、ソレハ兎ニ角トシテ、此ノ勅令デ規定シヨウト云フコトモ、是ハ異例ニ屬ス

ルカラ、成ベクハ之ヲ法律ニセヨ、斯ウ云フヤウナ意味ト思フノデアリマスガ、衆議院ノ意向ハ兎ニ角ト致シマシテ、サウ云フヤウナ意向ハ政府デ御持チニナルノデアリマスガ、私ハ之ヲ改メテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(青木一男君) 此ノ勅令ニ定ムル所ニ依ルト云フ規定ノ代リニ、若シ法律ヲ出シテ之ニ代ルモノヲ制定スベシトノ意味デアリマスレバ、政府ハ只今ノ處、左様ナ考ヲ持シテ居リマセヌ

○水野鍊太郎君 サウ云フ意味デヤナイノダ、宜ウゴザイマスガ、能ク聽イテ置イテ戴キタイ、命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトハ出來ナイ、併シナガラ法律ヲ以テ命令ヲ變更スルコトハ出來ル、若シクハ命令ノ内容ヲ法律デスルコトモ出來ル、ソレ故ニ今後ドウ云フ勅令ガ出來ルカ知レマセヌケレドモ、其ノ勅令ノ内容ノコトヲ成ルベク法律ニ規定スルコトガ宜イト思フガ、政府ハ將來勅令デ規定シタ内容ヲ法律ニ變ヘテ行クト云フヤウナ希望ハ御持チニナラヌデスカ、サウ云フコトハイカスト思ッテ居ルノデスカ、斯ウ云フコトデス、分リマシタカ、ソレヲ伺ヒタイ

○國務大臣(鹽野季彦君) 伊澤サント水野

サンノ同趣旨ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマスガ、此ノ委任命令ノ、即チ勅令ノ内容トナリマスルコトハ、度々申上ゲルヤウニ、事態ニ應ジマシテ、本法ニ掲ゲル大綱ヲ制限シ、明確ニスル規定ヲ設クルノデアリマスルカラ、矢張り戰時ノ千變萬化デ、戰爭ノ事態ニ依リマシテ、實際ノ動員計畫ニ必要ナル程度ニ於テ勅令ヲ規定致シマスノデ、敵國ガ甲ト決リマシテモ、ソレガ戰爭ノ二月、三月繼續スル中ニモ甲ガ乙ト或經濟上ノ協約ヲスルト云フヤウナ關係カラ、物資ノ輸出入ノ關係ニ付テモ方向ヲ變ヘテ行ク、或ハ又國內ニ於ケル物資竝ニ其ノ製造工場等ニ關スル模様ヲ變ヘテ行クト云フヤウナコトガ、即チ動員法ノ運用ノ上ニ於キマシテモ必要ナコトニ相成ルノデアリマスガ、勅令ノ内容ニ付キマシテ之ヲ所謂法律ト云フ形ニ致シマスルコトハ、政府ト致シマシテハ考ヘテ居リマセヌノデアリマス、此ノ委任勅令ニ依ッテ本法ノ運用ヲ適正迅速ナラシメヨウト考ヘテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵渡邊千冬君) 御質問ハ終了シタモノト認メマス、明日ハ午前十時ニ開會ヲ致シマシテ、討論採決ニ入リタイト存ジマス、本日ハ散會致シマス

午後四時二十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵渡邊 千冬君

副委員長 男爵大井 成元君

委員

公爵島津 忠承君

侯爵四條 隆愛君

侯爵井上 三郎君

伯爵二荒 芳徳君

子爵青木 信光君

子爵曾我 祐邦君

子爵岡部 長景君

大島 健一君

水野鍊太郎君

宇佐美勝夫君

男爵紀 俊秀君

伊澤多喜男君

塚本 清治君

山川 端夫君

白根 竹介君

男爵渡邊 汀君

黒崎 定三君

男爵伊江 朝助君

竹越與三郎君

山岡萬之助君

松村 義一君

中村圓一郎君

國務大臣

金杉英五郎君
山隈 康君

内閣總理大臣 公爵近衛 文麿君

司法大臣 鹽野 季彦君

陸軍大臣 杉山 元君

政府委員

法制局參事官 森山 銳一君

企畫院總裁 瀧 正雄君

企畫院次長 青木 一男君

企畫院部長 植村甲午郎君

同 横山 勇君

企畫院書記官 内田源兵衛君

外務省調査部長 米澤 菊二君

内務省警保局長 富田 健治君

陸軍中將 山脇 正隆君

海軍政務次官 一宮房治郎君

海軍參與官 岸田 正記君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

司法省調査部長 井上 登君

文部政務次官 内ヶ崎作三郎君

文部參與官 池崎 忠孝君

文部省普通學務局長 藤野 惠君

文部省宗教局長 松尾 長造君

拓務參與官 伊禮 肇君

拓務省管理局長 棟居 俊一君

厚生省勞働局長 成田 一郎君